

選挙に関する意識調査結果

平成 2 5 年 1 0 月実施

和光市選挙管理委員会

目次

1	調査の概要	1
	調査結果の見方	2
2	調査結果	
	問1（性別）	3
	問2（年代）	4
	問3（居住地区）	5
	問4（投票したか）	6
	問5（投票者の動機）	7
	問6（投票場所）	9
	問7（投票者の交通手段）	10
	問8（投票所の満足度）	12
	問9（棄権した理由）	14
	問10（期日前投票制度・場所の周知の度合）	16
	問11（選挙時に知りたい情報）	18
	問12（選挙を周知させる効果的な方法）	20
	問13（投票率が低い理由）	23
	問14（投票率を上げる効果的な方法）	25
	問15（選挙管理委員会の啓発活動への期待）	28
3	自由意見欄の記載	30
4	調査票	42

1 調査の概要

- 1 目的
有権者の投票行動や選挙意識を調査することで、今後実施する選挙の執行管理の参考とする。
- 2 調査対象
選挙人名簿（平成 25 年 9 月 2 日現在）から等間隔無作為抽出した 1,500 人を対象とした。
- 3 調査期間
平成 25 年 10 月 24 日から同年 11 月 6 日まで
- 4 調査方法
調査対象者に調査票を郵送で発送・回収した。
- 5 調査内容
投票行動、選挙意識に関する質問 15 項目。詳細は別添のとおり。
- 6 回収率
46.2%（回答者数 693 人／対象者数 1,500 人）

調査結果の見方

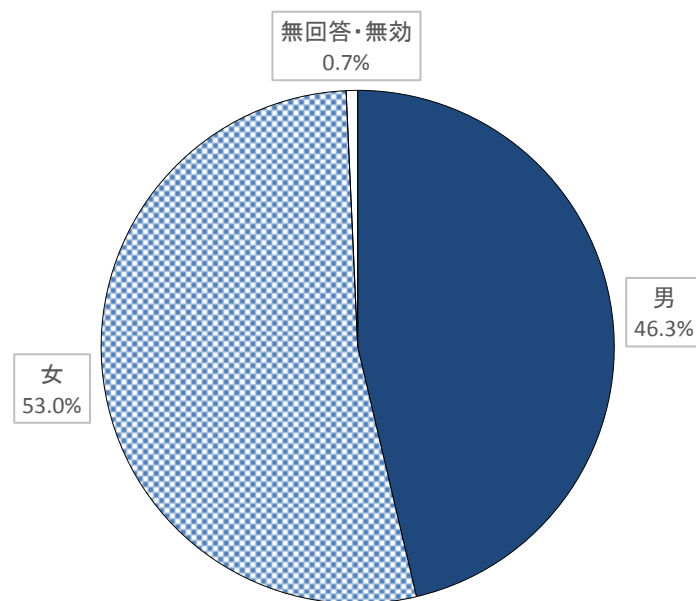
- ・ グラフに使われる「n」は、各設問に対する回答者数である。
- ・ 百分率（％）の計算は、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位まで表示した。そのため、1つだけ回答を選ぶ設問においても四捨五入の影響で、各選択肢の回答者の％の合計が100にならない場合がある。
- ・ 2つ以上回答を選べる設問においては、％の合計が100を超える。
- ・ 回答者数が少ない場合、比率が変動しやすいため、本文中では触れていない場合がある。
- ・ 2つ以上回答を選べる設問の調査結果において、回答割合が10%に満たなかった項目については、クロス集計したグラフを省略している。
- ・ グラフは表示の都合上、調査票の選択肢の文言を簡略化している場合がある。
- ・ クロス集計の分析において、項目間の比率の差を言及する場合、小数点以下第一位を四捨五入し、％ではなくポイントで表現している。
- ・ 問7、問8では居住地域と投票所への交通手段及び満足度の関係調べるため、地域別による分析項目を加えた。

2 調査結果

1 あなたの性別をお答えください。

回答総数 693 人のうち、「女性」53.0%（367 人）、「男性」46.3%（321 人）から回答を得た。

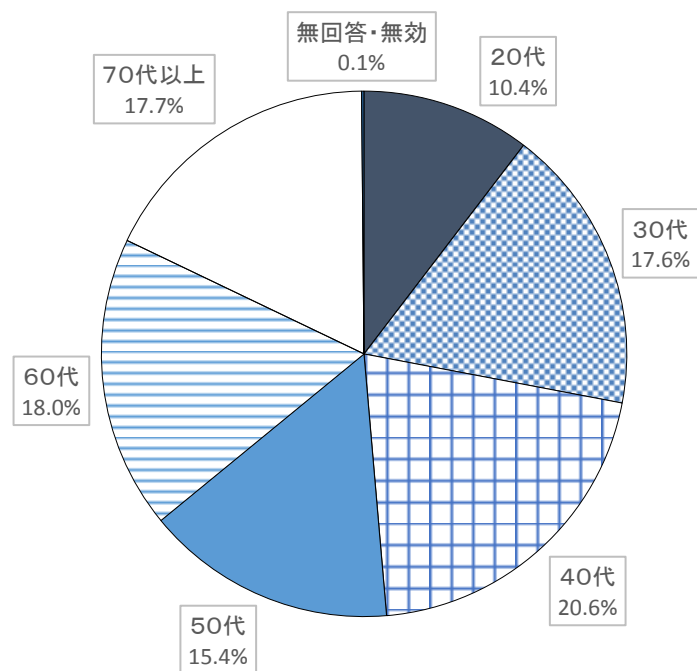
(n=693)



2 年代をお答えください。

「40代」からの回答が最も多く 20.6%で、以下「60代」18.0%、「70代以上」17.7%、「30代」17.6%、「20代」10.4%であった。

(n=693)

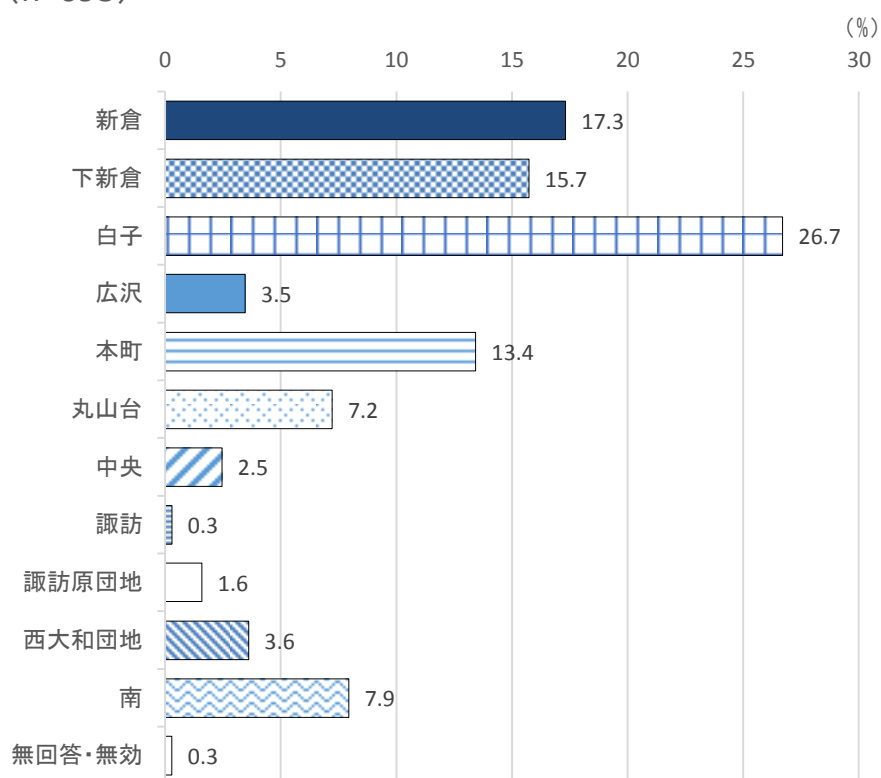


3 和光市のどの地区にお住まいですか。

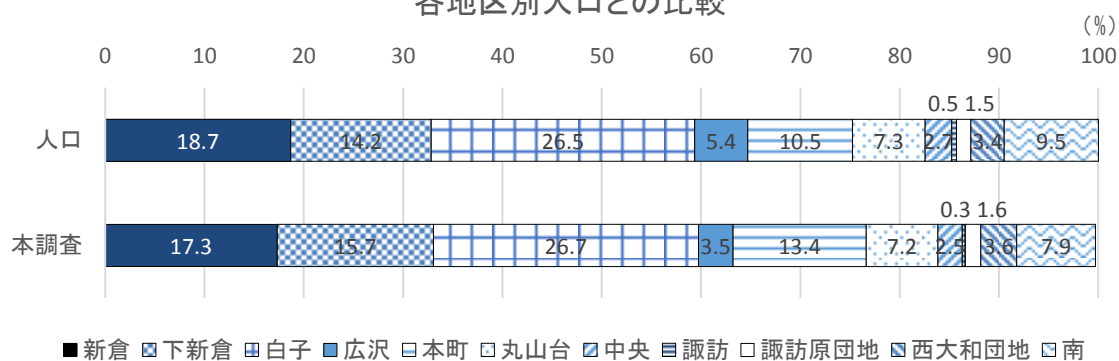
白子地区からの回答が最も多く 26.7%で、以下、新倉地区 17.3%、下新倉地区 15.7%の順であった。分析の便宜上、大きく地域分けをすると、白子を除く東武東上線から北側の地域を“北”（新倉・下新倉）33.0%、南側の地域を“南”（広沢・本町・丸山台・中央・諏訪・諏訪原団地・西大和団地・南）40.0%、最寄駅が西高島平や成増など東京都寄りの地域を“東”（白子）26.7%とする。

調査対象者に偏りがあるように思われるが、これは市内における地区別の人口の多寡によるものである。これを裏付けるのが図「各地区別人口との比較」である。これによれば本調査の回答者の比率と実際の人口（平成 25 年 9 月 1 日現在）の比率は大変近似していることがわかる。

(n=693)



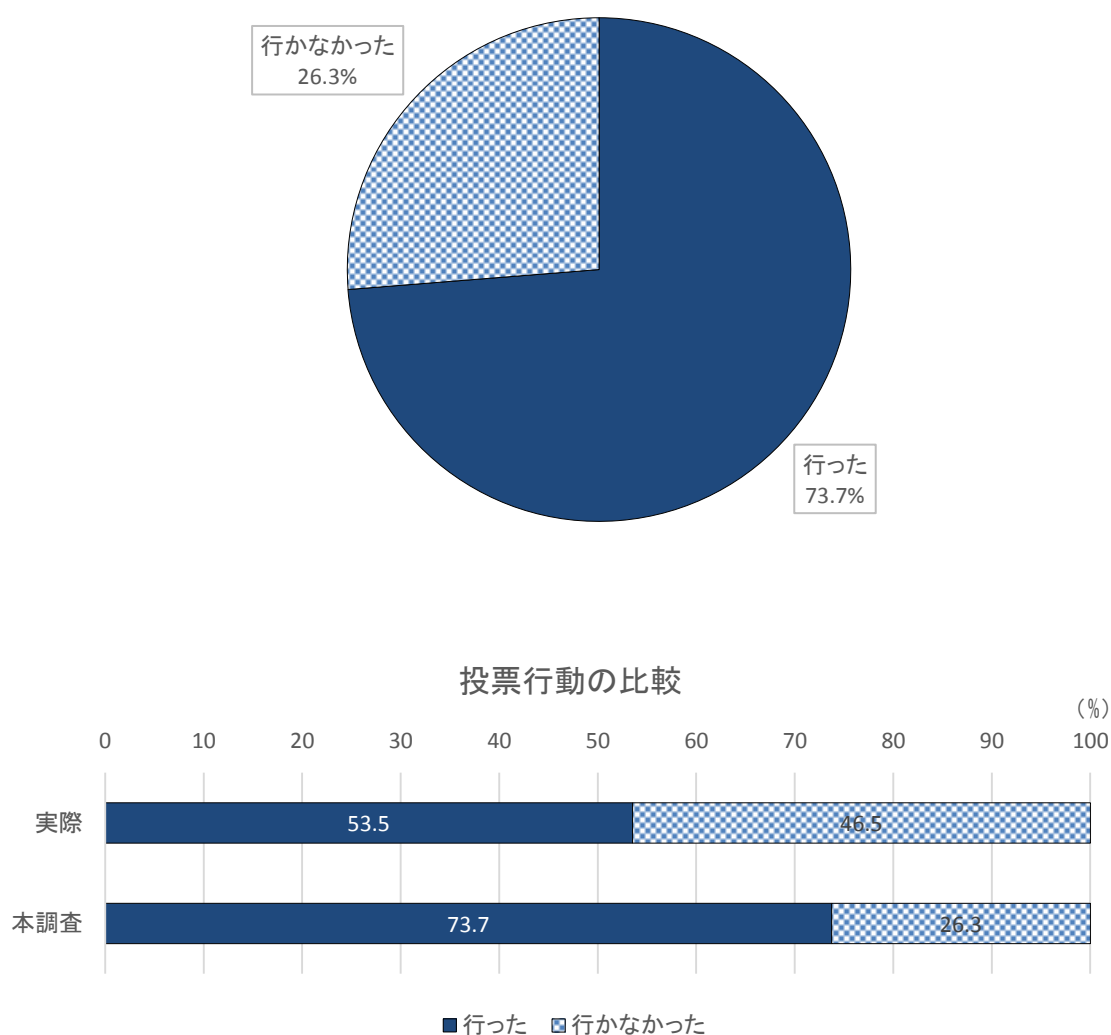
各地区別人口との比較



4 あなたは本年7月に行われた参議院議員通常選挙に行きましたか。

投票に行った人は、511人で73.7%であった。選挙での実際の投票率は53.5%で、調査結果とはほぼ20%の差がある。この原因として、調査の回答に応じた人は選挙や政治に対する関心が高いことが考えられる。しかし、調査票の回収数は693件あるため、この調査結果については統計上一定の信頼性があり、回答者の傾向をみるには支障はないと考える。

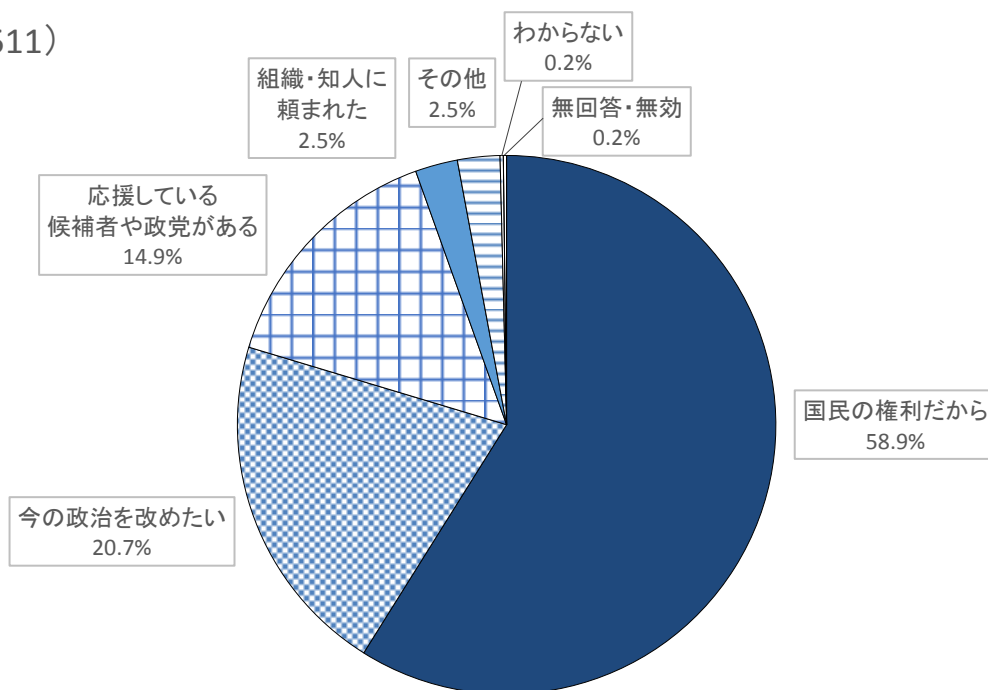
(n=693)



5 あなたが投票に行ったのは、どういう気持ちからですか。

投票に行くのは「国民の権利だから」が 58.9%で最も多く、以下「今の政治を改めたい」が 20.7%、「応援している候補者や政党がある」が 14.9%となっていた。

(n=511)

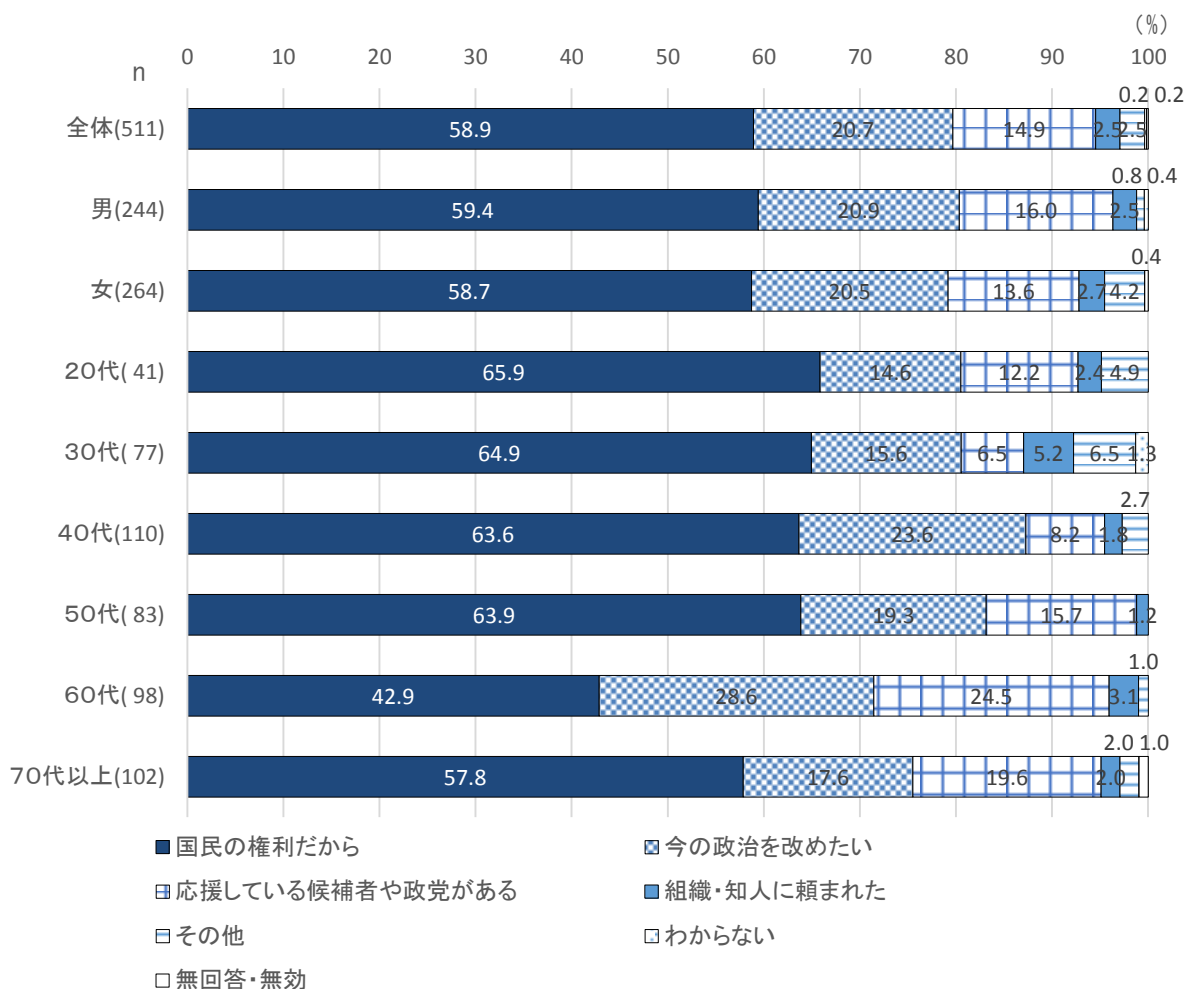


<性別>

特に大きな違いは見られなかった。

<年代別>

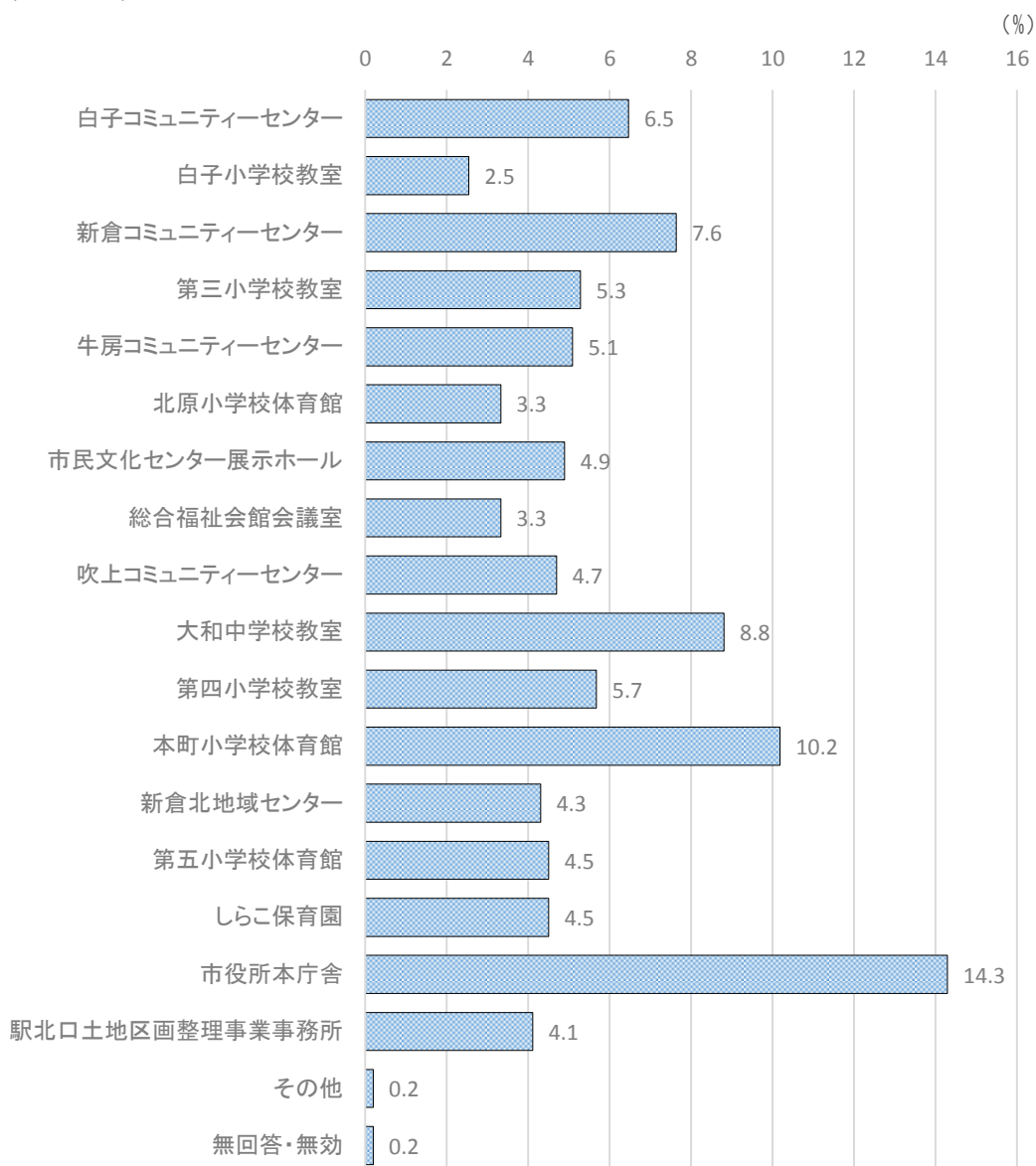
30代は「応援している候補者や政党がある」が約7%と低くなっていた。60代は他の年代よりも、「国民の権利だから」が約40%と低いと同時に、「応援している候補者や政党がある」が約30%、「今の政治を改めたい」が約25%と高くなっていた。



6 あなたは今回の選挙でどちらの施設で投票しましたか。

市役所本庁舎を利用した人からの回答が最も多く、全体の 14.3%であった。投票日当日の 15 箇所の投票所に行った人は 81.2%で、期日前投票所（市役所本庁舎、駅北口土地区画整理事業事務所）を利用した人が 18.4%であった。なお、「その他」の回答は転出入に伴い、和光市以外で投票した人であった。

(n=511)

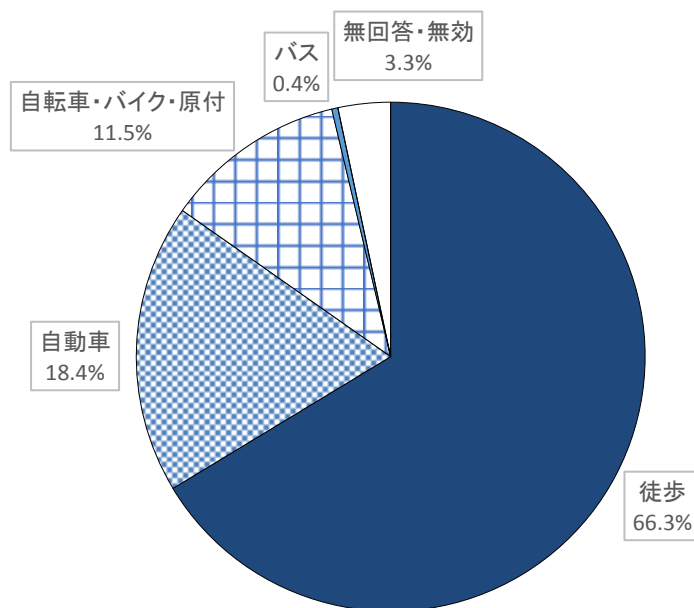


7 あなたが投票所へ行った際の交通手段は何ですか。

投票所への交通手段は、「徒歩」が最も多く 66.3%となっていた。一方「自動車」が 18.4%、「自転車・バイク・原付」が 11.5%、「バス」が 0.4%となっていて、「徒歩」以外の手段は 30.3%となっていた。

なお、バスは市役所本庁舎を利用した際の交通手段であることが分かった。

(n=511)



<性別>

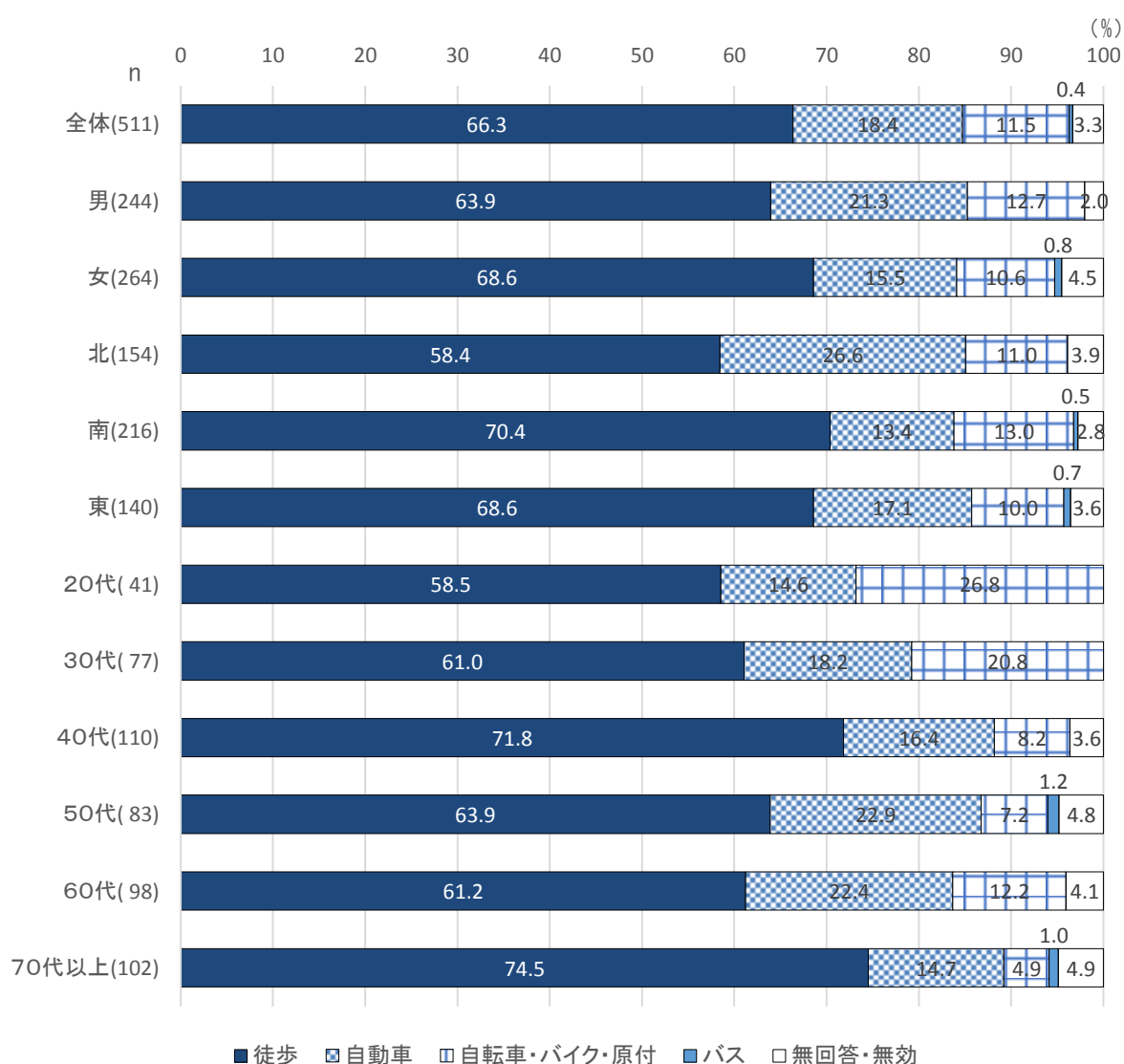
男性は女性よりも「徒歩」以外の手段である「自動車」、「自転車・バイク・原付」の合計が8ポイント高くなっていた。

<地域別>

“北”では「徒歩」が最も低く、同時に「自動車」が最も高くなっており、“南”よりも徒歩は12ポイント、自動車は約13ポイントの差があった。

<年代別>

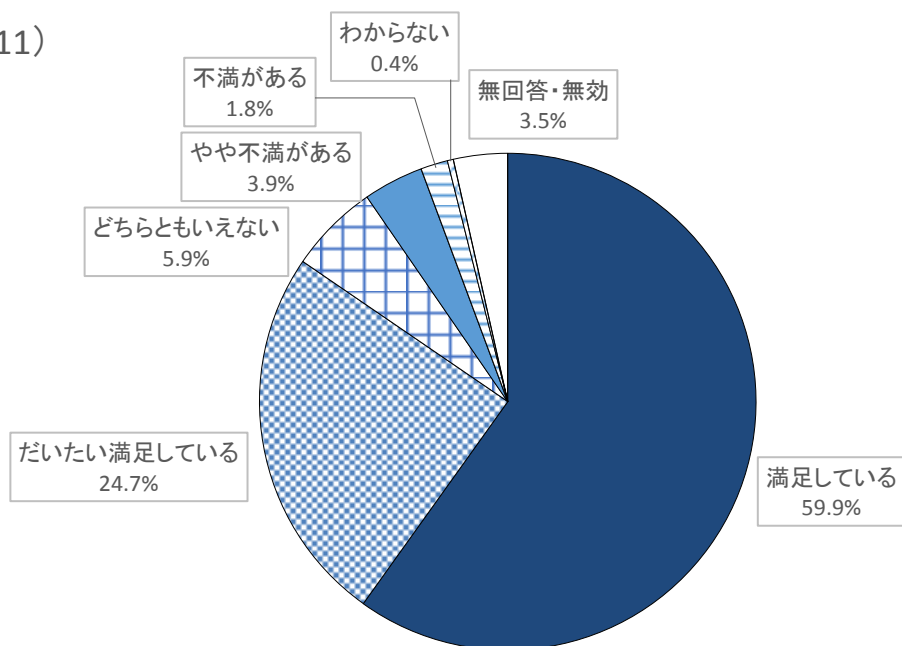
どの年代においても「徒歩」が最も高くなっていたが、70代以上で最も高く約75%であった。20代、30代においては他の年代よりも、「自転車・バイク・原付」が2割以上と高くなっていた。



8 あなたが行った投票所（自宅からの距離・設備・駐車場等）についてどのように思いますか。

利用した投票所について「満足している」は 59.9%で最も大きく、「だいたい満足している」24.7%を含めた満足派は 84.6%となっていた。一方、「不満がある」1.8%と「やや不満がある」3.9%を含めた不満派は 5.7%であった。不満の主な理由は駐車場が狭い（ない）、投票所が遠い、坂道がある、であった。

(n=511)



<性別>

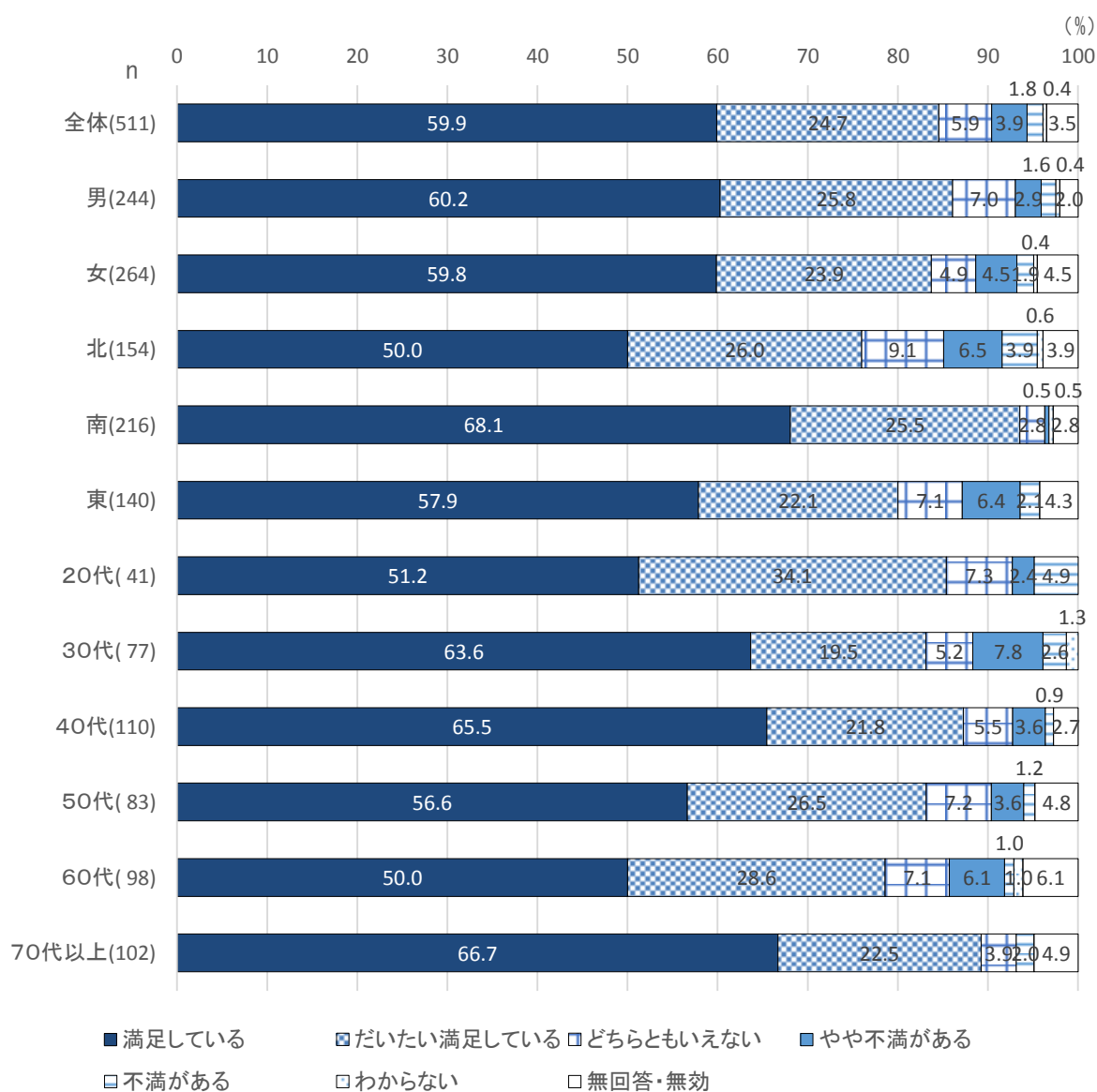
特に大きな違いは見られなかった。

<地域別>

満足派の割合は“南”で非常に高く、9割強であった。“北”では満足派が最も少なく約75%となり、約18ポイントの差があった。

<年代別>

60代を除く他の年代においては、80%以上が満足派であり、30代では不満派が約10%と少し高くなっていた。

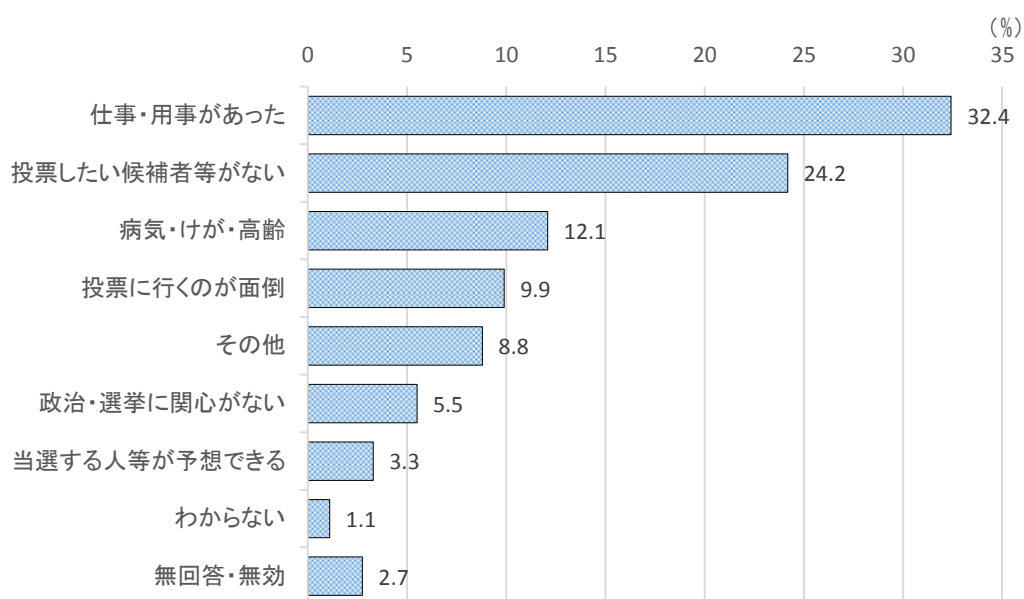


9 あなたが投票に行かなかったのはどういう理由ですか。

投票に行かなかった主な理由は、「仕事・用事があった」で 32.4%となっていた。以下、「投票したい候補者や政党がない」が 24.2%、「病気・けが・高齢」が 12.1%であった。

「その他」の回答が多かったので、具体的な回答を見ると「引越し」が最も多く、このほか「一時的な体調不良」や「入場整理券を忘れた」、「自分一人の投票で政治は変わらない」等があった。

(n=182)

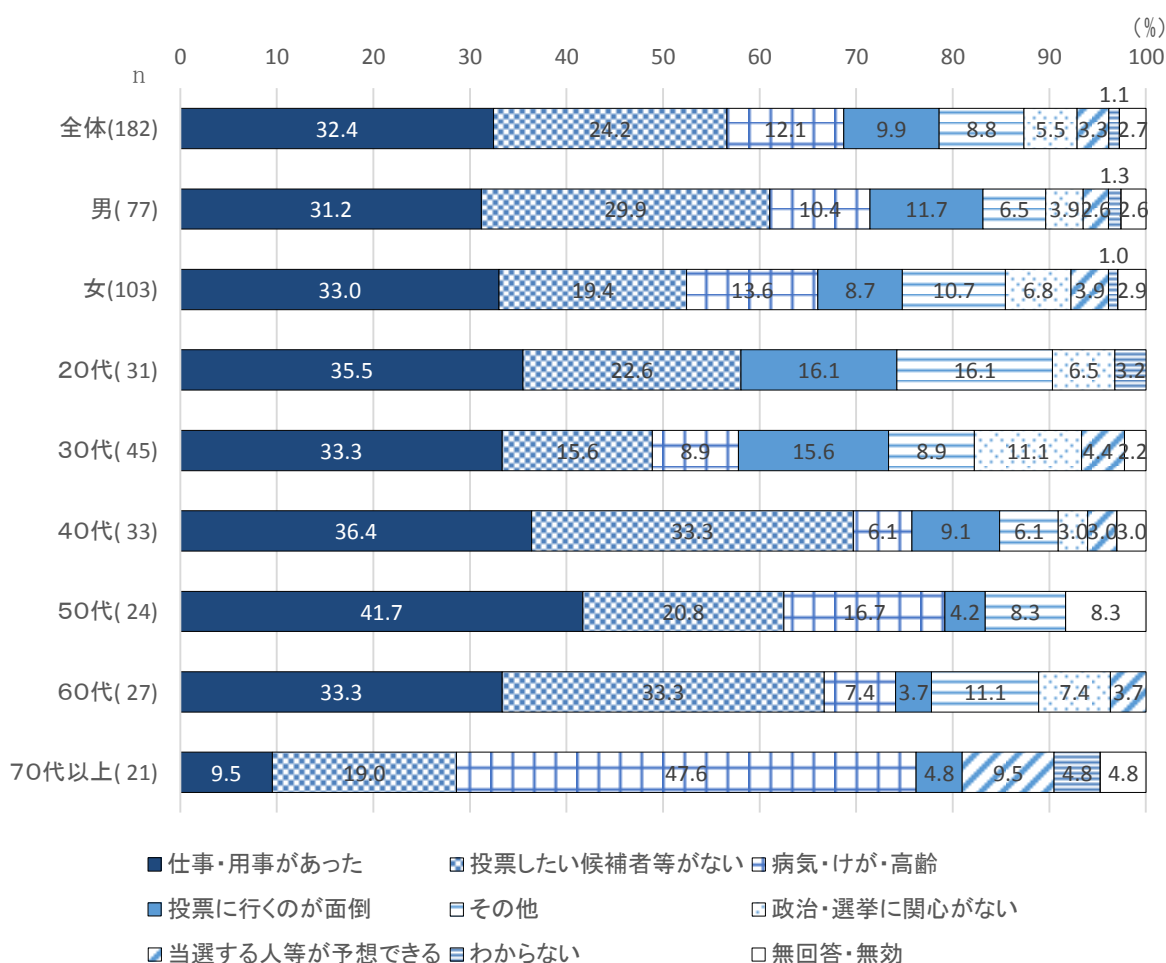


<性別>

「投票したい候補者や政党がない」では、男性が女性よりも約11ポイント高かった。

<年代別>

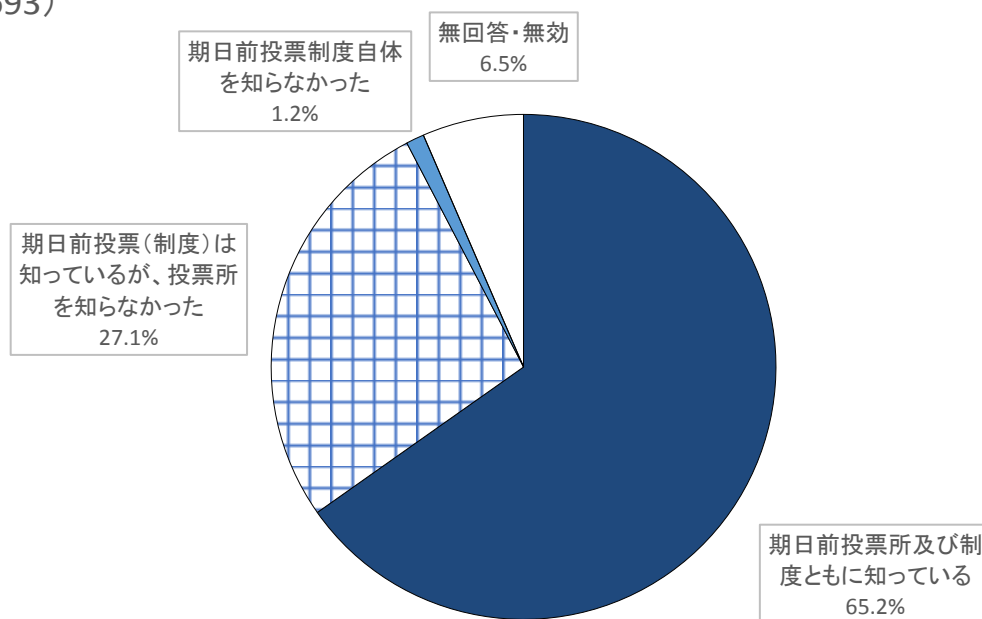
主な理由は「仕事・用事があった」だが、40代、60代においては「投票したい候補者や政党がない」もその年代の3分の1を占めていた。また、70代では「病気・けが・高齢」が約5割と主な理由となっていた。20代、30代においては「投票に行くのが面倒」が約15%あり、さらに20代では「その他」も約15%と、やや高くなっていた。



10 投票当日に理由があつて投票に行くことができない人のために、期日前投票所（制度）があります。和光市では、期日前投票所を市役所本庁舎と、和光市駅北口にある駅北口土地区画整理事務所に設けていますが、このことを知っていますか。

期日前投票所及び制度ともに知っている人の割合は 65.2%であつた。制度は知っていたが場所を知らなかった人の割合は 27.1%となり、92.3%の人が期日前投票所（制度）を知っているという結果だった。

(n=693)



<性別>

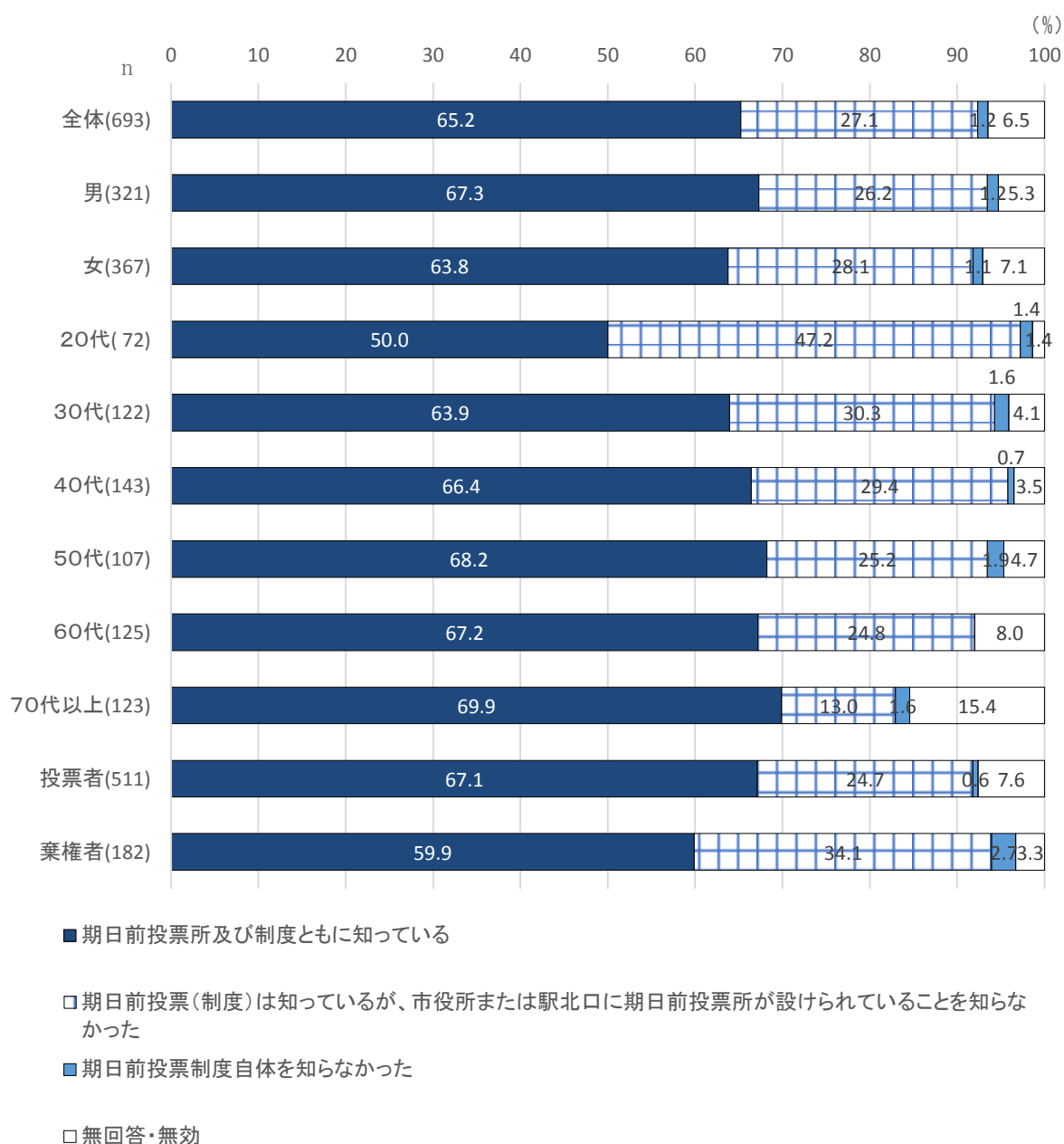
特に大きな違いは見られなかった。

<年代別>

期日前投票制度については、どの年代も80%以上の回答者が知っているが、20代では、投票所の場所について知らない人が約5割と高かった。70代以上では無回答・無効の回答が約15%あった。

<投票棄権別>

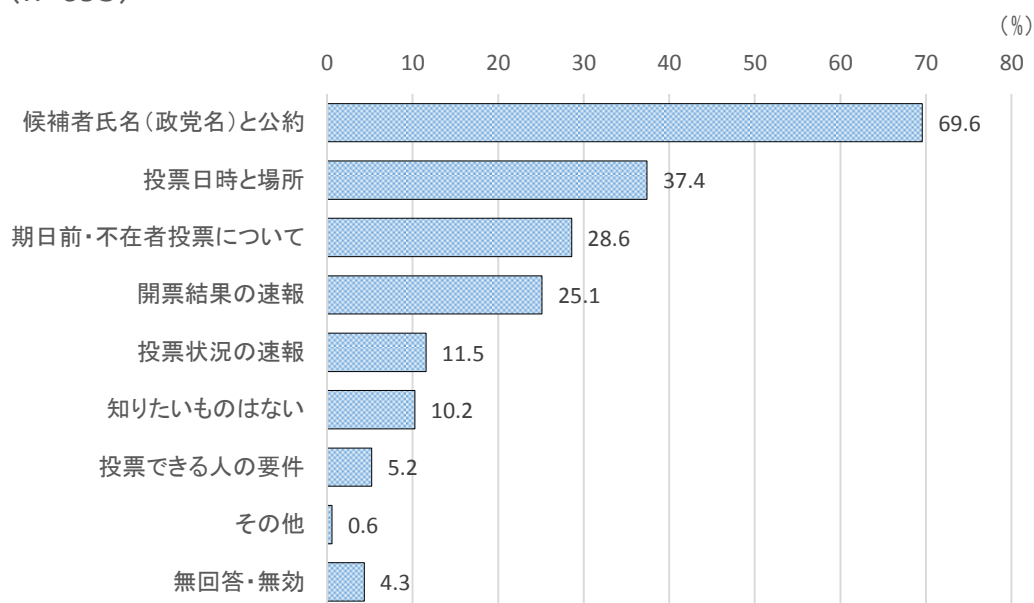
制度についてはほとんどの回答者が知っているが、棄権者は投票者よりも、投票所の場所を知らない人が約9ポイント高かった。



1 1 あなたが選挙の際に広報誌やホームページ等で知りたい情報は何ですか。

有権者が知りたい情報は「候補者氏名と公約」が 69.6%と最も高く、以下「投票日時と場所」が 37.4%、「期日前・不在者投票について」が 28.6%、「開票結果の速報」が 25.1%となっていた。

(n=693)



<性別>

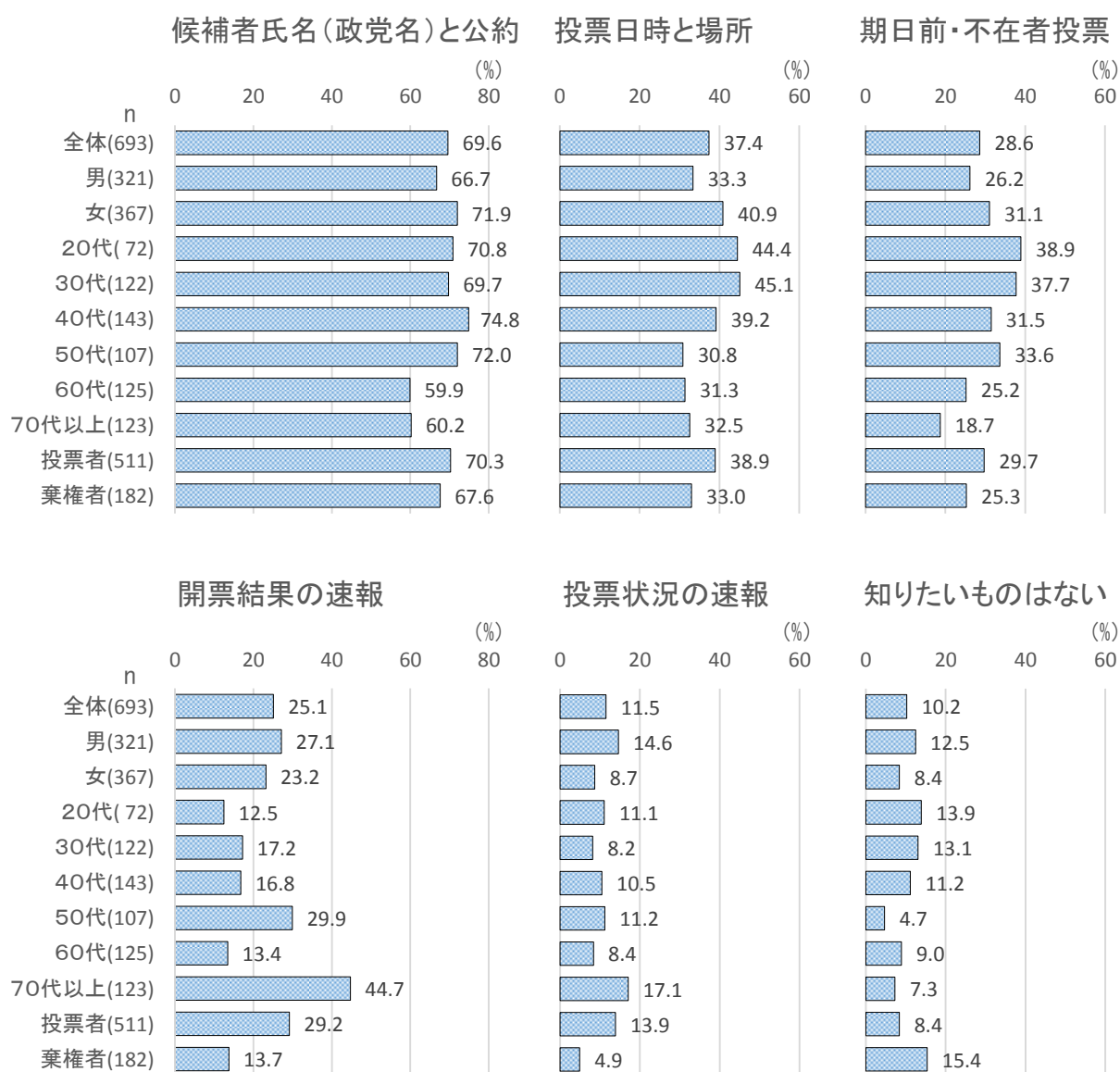
上位三項目の割合は、女性の方が男性よりも高く、四位以下の項目については男性の方が女性よりも高かった。

<年代別>

全体では第四位の知りたい情報である「開票結果の速報」が70代以上では第二位となっていた。「期日前・不在者投票について」では、年代が上がるにつれ、概ね低くなる傾向が見られた。

<投票棄権別>

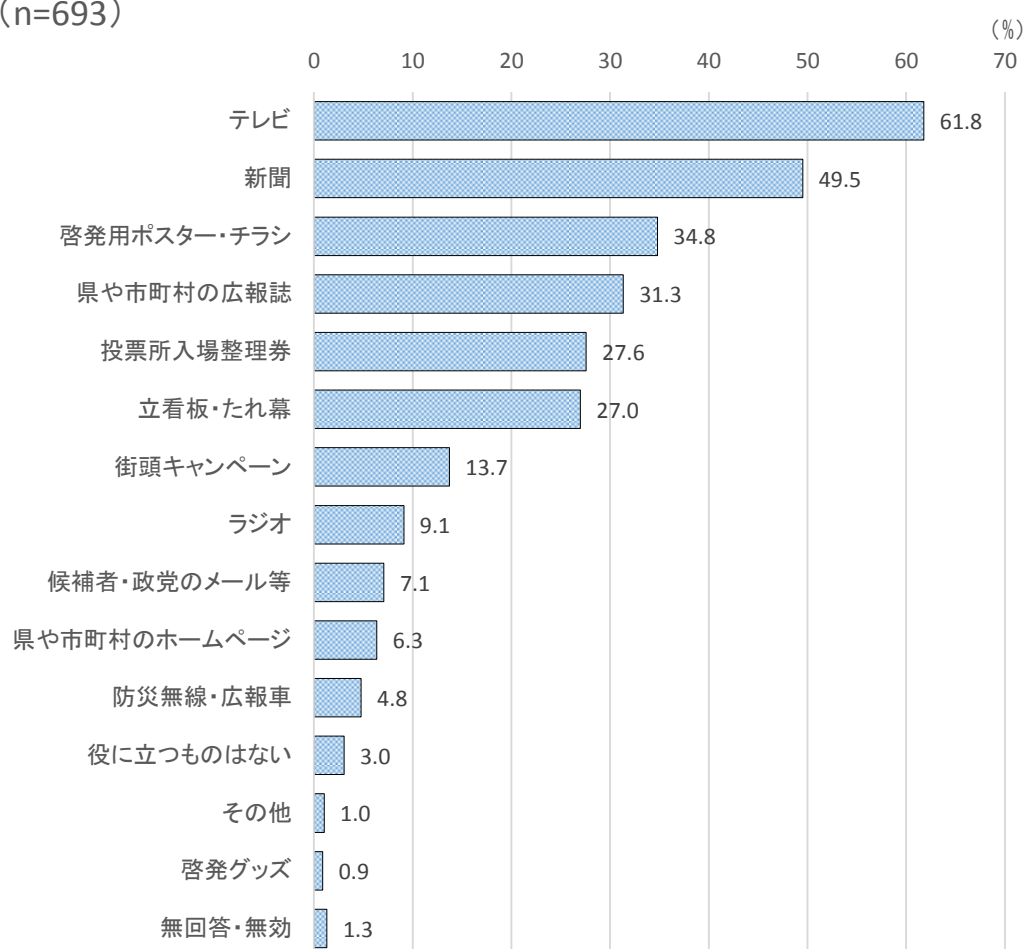
「知りたいものはない」を除く項目において、投票者は棄権者よりも高い割合であったが、特に「開票結果の速報」では約16ポイント高かった。



12 あなたが選挙のお知らせ手段として役に立っていると思うものは何ですか。

最も高かったのは「テレビ」で61.8%、次いで「新聞」が49.5%とマスメディアによるお知らせが大きく突出していた。以下「啓発用ポスター・チラシ」が34.8%、「県や市町村の広報誌」が31.3%、「投票所入場整理券」が27.6%、「立看板・たれ幕」が27.0%と続いた。マスメディアでも「ラジオ」は9.1%しかなく、今回の選挙からできるとされたインターネットによる選挙運動も、「候補者や政党のメール・ウェブサイト等」「県や市町村のホームページ」には数字が反映されていない結果となった。

(n=693)



<性別>

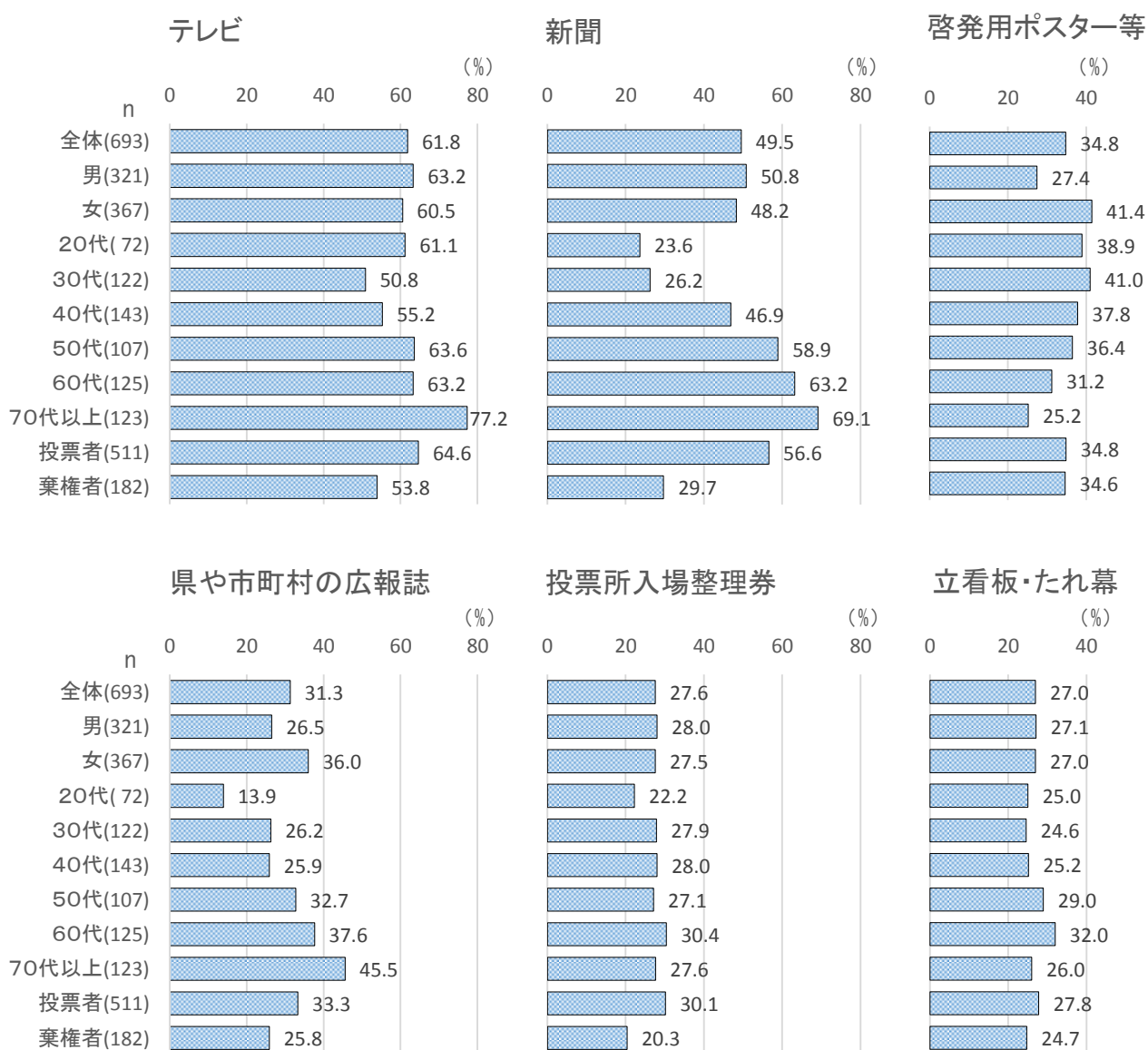
女性は男性よりも「啓発用ポスター・チラシ」で14ポイント、「県や市町村の広報誌」で約10ポイント高く、やや大きな差が見られた。

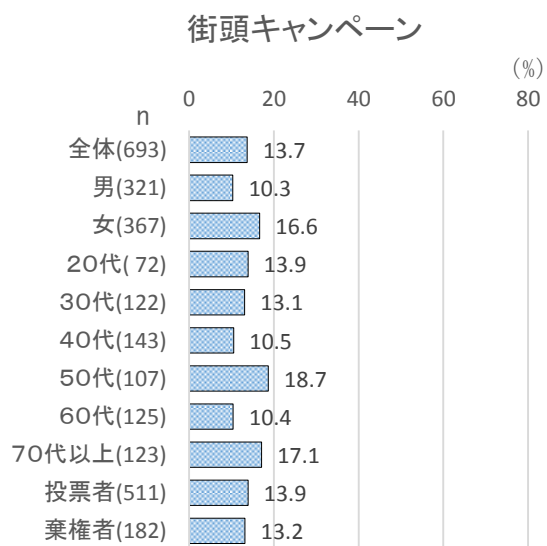
<年代別>

「テレビ」、「新聞」、「県や市町村の広報誌」では、年代が上がるにつれて、概ね高くなる傾向が見られた。一方、「啓発用ポスター・チラシ」では年代が上がるにつれて概ね低くなる傾向が見られた。

<投票棄権別>

すべての項目において、投票者は棄権者よりも割合が高かったが、特に「新聞」で約27ポイント、「テレビ」で約11ポイント、「投票所入場整理券」で約10ポイントの差があった。

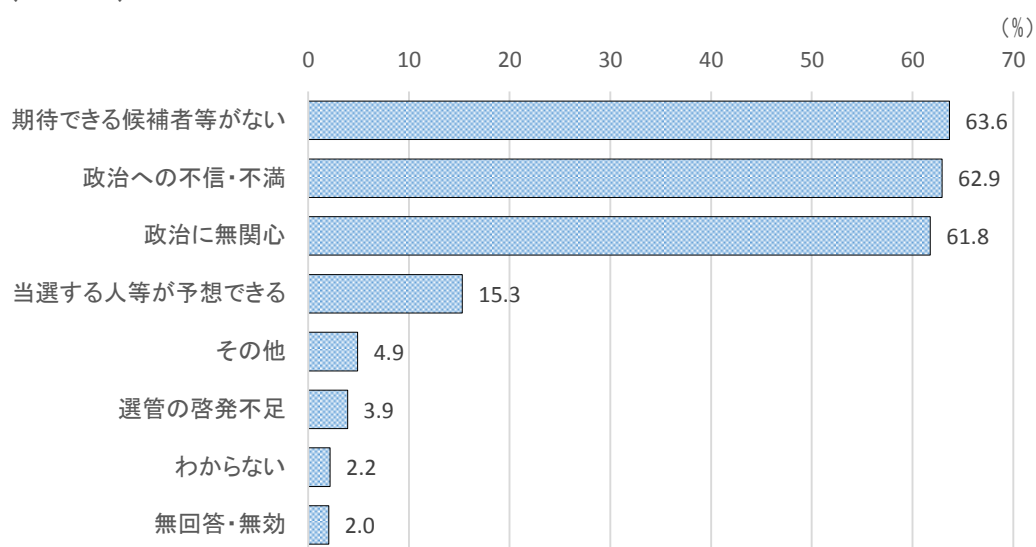




1 3 近年、全国的に投票率が低くなっています。その理由は何だと思われますか。

「期待できる候補者や政党がない」が 63.6%、「政治への不信や不満のあらわれ」が 62.9%、「政治に無関心な人が多いから」が 61.8%と上位三項目が 6割を超えて突出していた。

(n=693)



<性別>

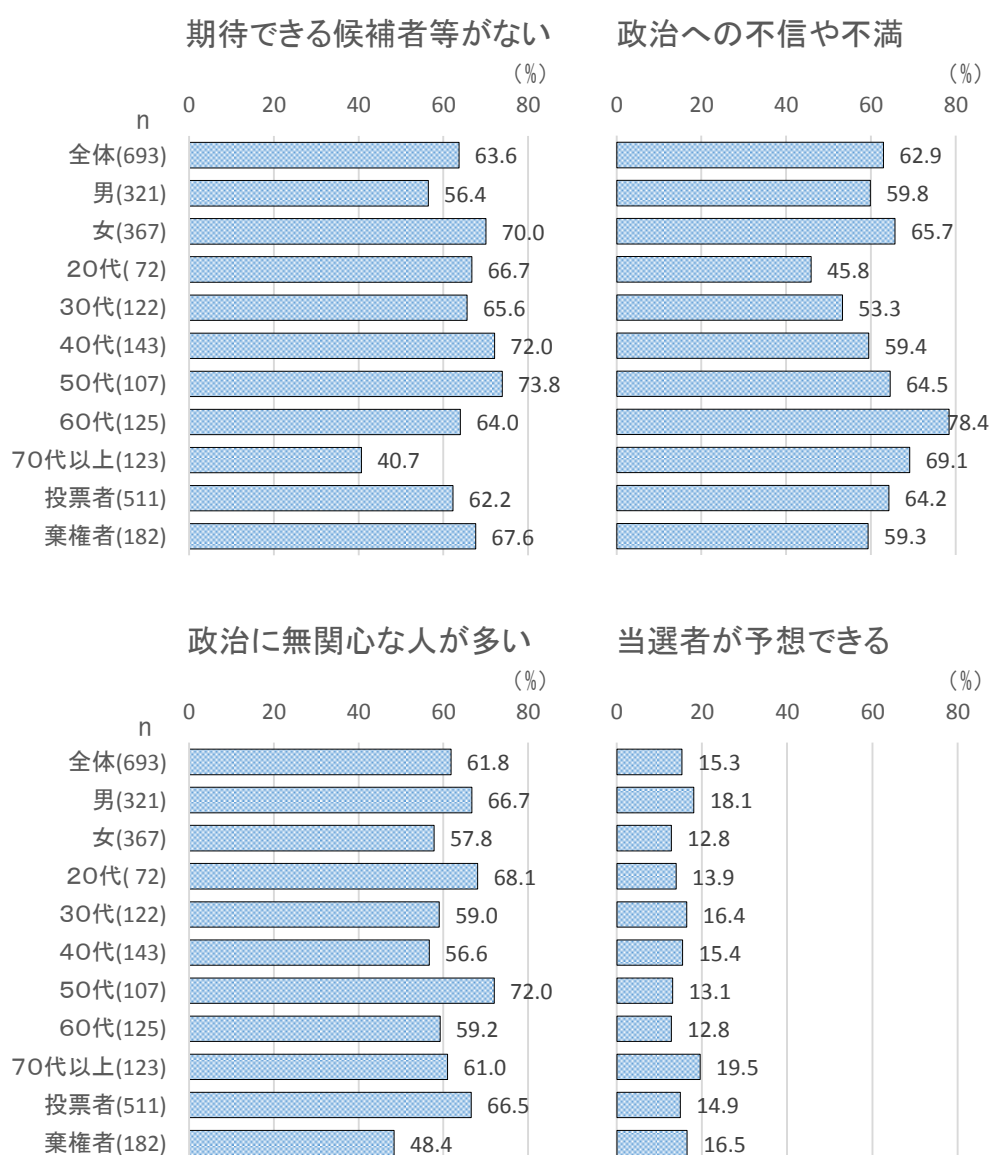
各項目でやや大きい男女差が見られるが、主な理由である「期待できる候補者や政党がない」では、女性の方が男性よりも約14ポイント高かった。

<年代別>

「期待できる候補者や政党がない」では、ほとんどの年代で6割を超えているが、70代以上では約4割と低かった。「政治への不信や不満のあらわれ」では年代が上がるに伴い、60代をピークに高くなる傾向が見られた。「政治に無関心な人が多いから」では、20代と50代で約7割と高かった。

<投票棄権別>

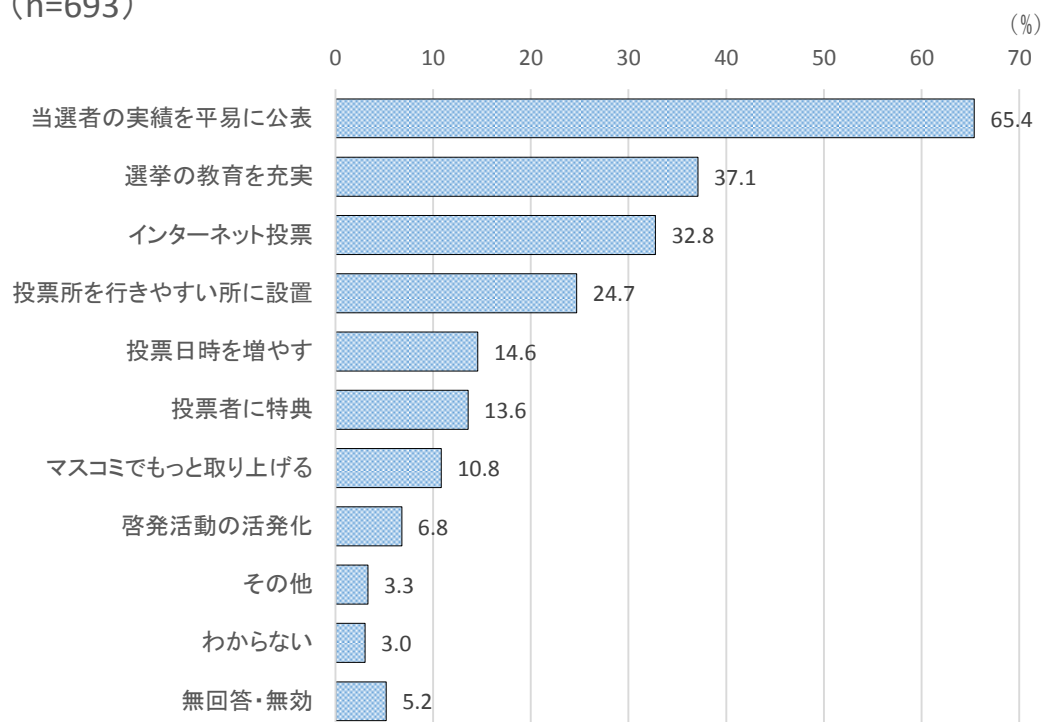
「政治に無関心な人が多いから」では投票者が棄権者よりも約18ポイント高かった。



1 4 あなたが投票率を向上させるのに効果的と思う方法を選んでください。

「当選した人が公約を政治にどれだけ反映させたか有権者にわかりやすく公表する」が 65.4%で最も高く、以下「選挙に関する教育を学校や家庭で充実させる」が 37.1%、「インターネットを通じて投票できるようにする」が 32.8%、「投票所を駅近くなど行きやすい場所に設置する」が 24.7%と続いた。

(n=693)



<性別>

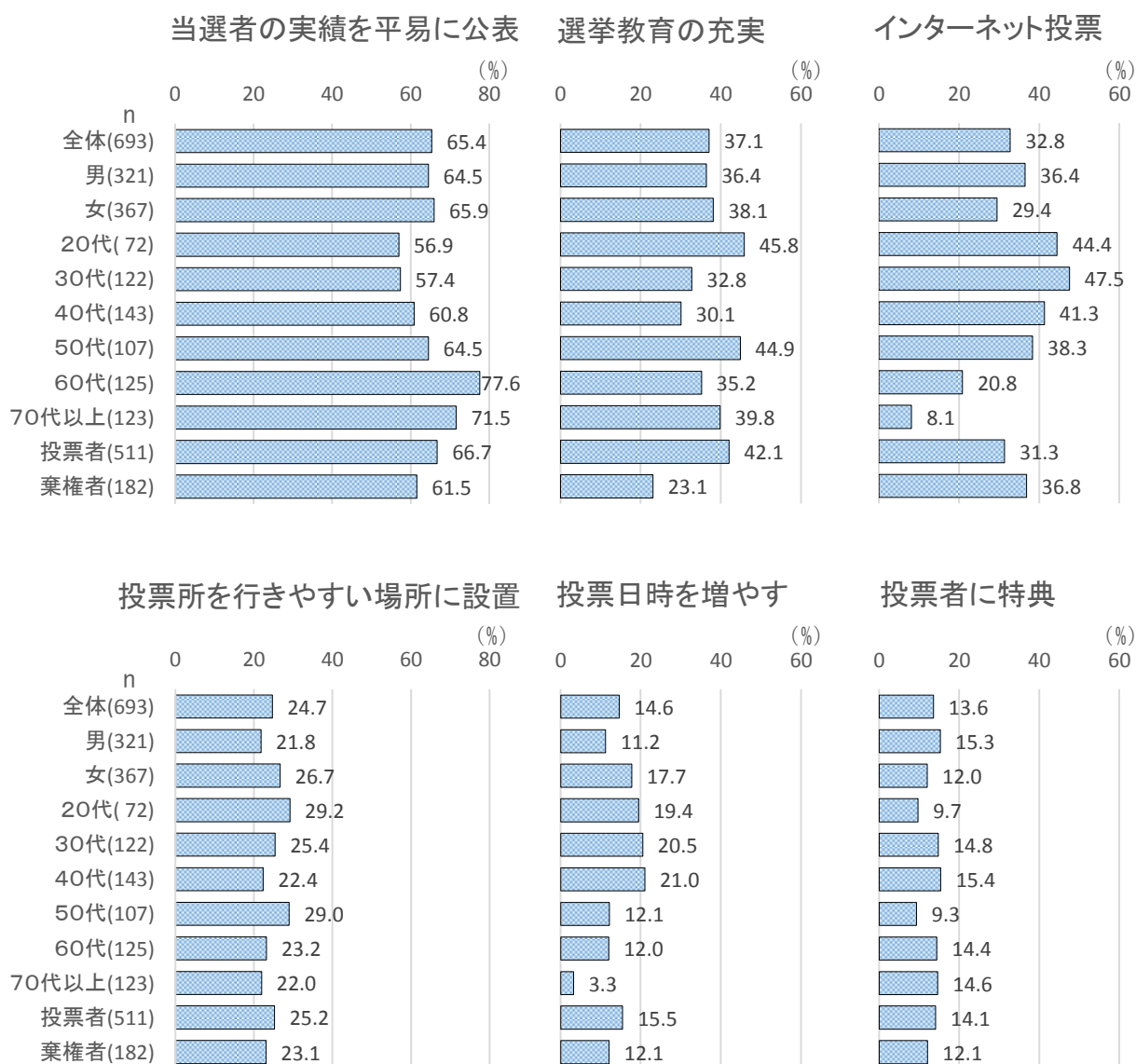
「インターネットを通じて投票できるようにする」では男性が女性よりも7ポイント、「投票日を増やす、あるいは投票時間を延長する」では女性が男性より約7ポイント高かった。

<年代別>

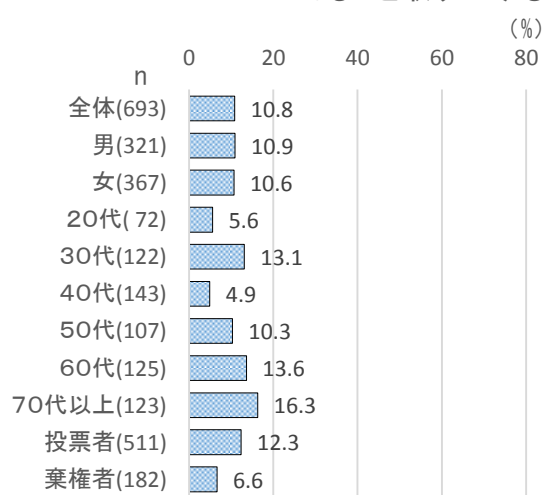
「当選した人が公約を政治にどれだけ反映させたか有権者にわかりやすく公表する」では年代が上がるにつれ60代をピークに高くなる傾向が見られ、「インターネットを通じて投票できるようにする」では30代をピークに年代が上がるにつれ低くなる傾向が見られた。「選挙に関する教育を学校や家庭で充実させる」では20代と50代において約45%と他の年代よりも高かった。

<投票棄権別>

「選挙に関する教育を学校や家庭で充実させる」では、投票者が棄権者よりも19ポイント高かった。一方、「インターネットを通じて投票できるようにする」では、棄権者が投票者よりも約6ポイント高かった。



マスコミでもっと取り上げる

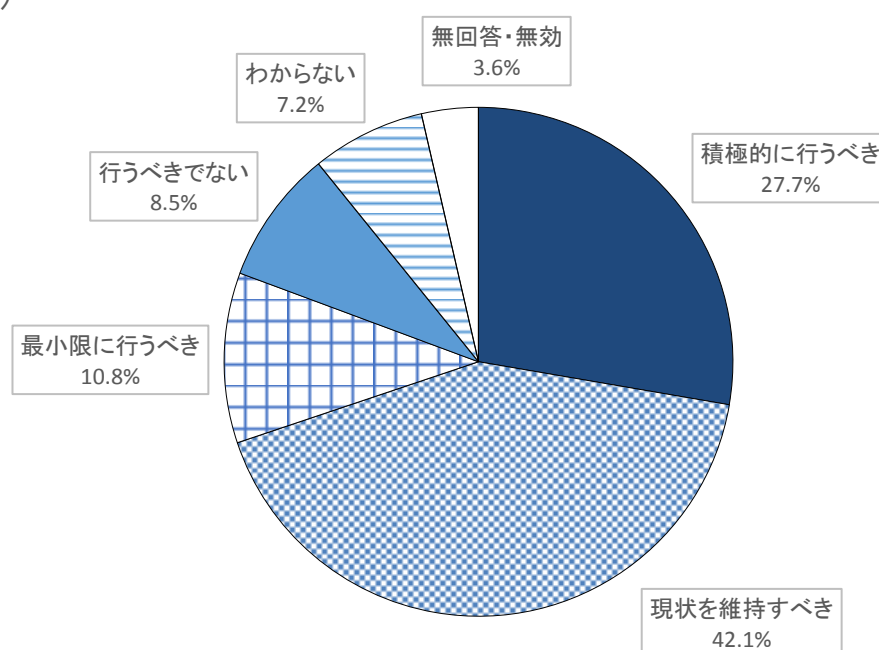


15 選挙管理委員会では投票率向上のため、選挙のお知らせの看板、広報車等で啓発活動をしています。これについて、あなたの考えに最も近いものを選んでください

「現状の啓発活動を維持すべき」が 42.1%と最も高く、以下「もっと積極的に啓発活動を行うべき」が 27.7%、「投票日時場所の通知程度で最小限に行うべき」が 10.8%で、選挙管理委員会にある程度の啓発活動を求めている人の割合は 80.6%であった。

一方、啓発活動は必要ないという人の割合は 8.5%であった。

(n=693)



<性別>

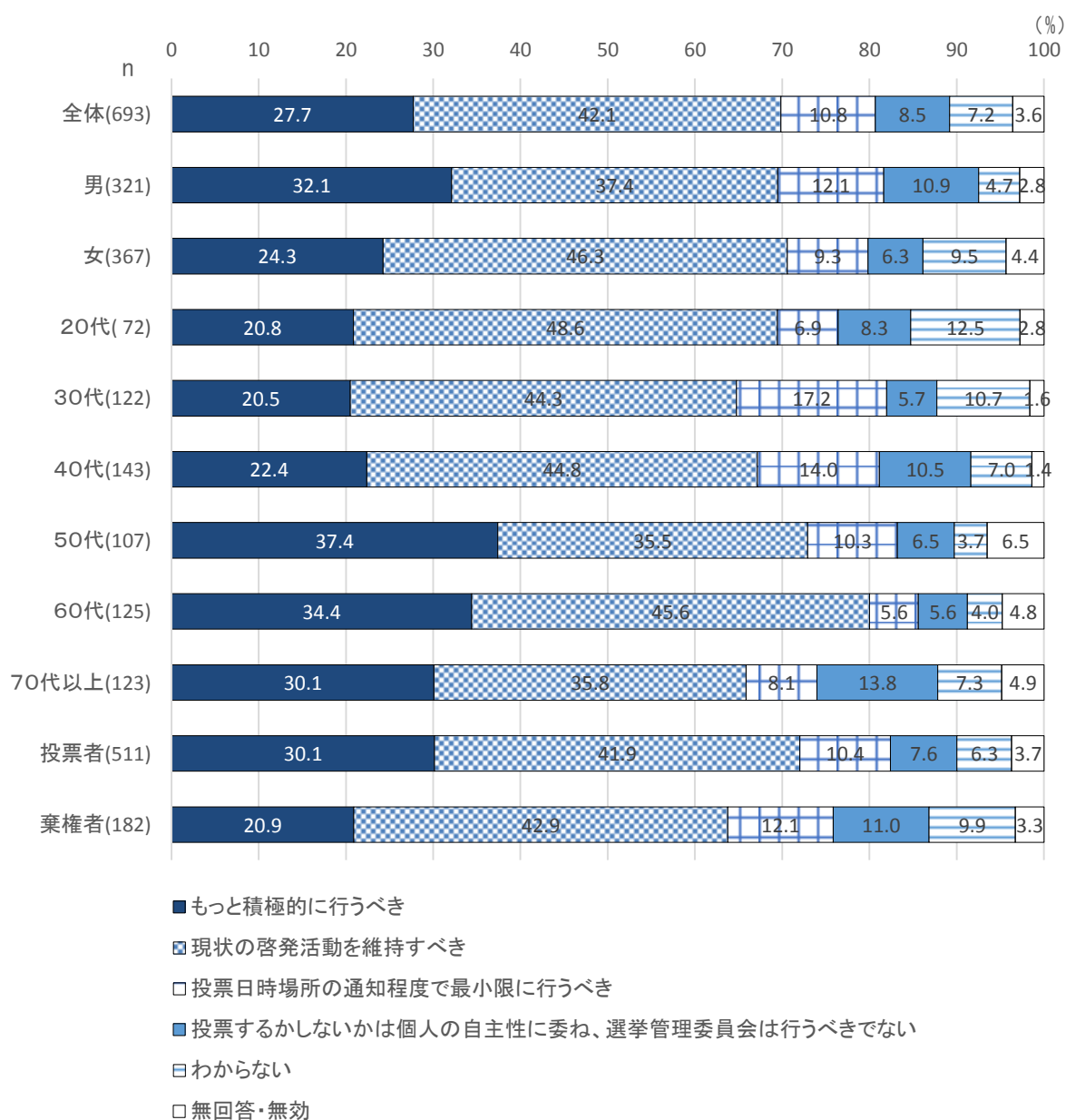
「もっと積極的に行うべき」では男性が女性よりも約8ポイント高く、「現状の啓発活動を維持すべき」では女性が男性よりも約9ポイント高かった。

<年代別>

「もっと積極的に行うべき」では、20代から40代までが約2割なのに対し、50代以上では3割以上となっていた。

<投票棄権別>

「もっと積極的に行うべき」では投票者が棄権者よりも約10ポイント高かった。



3 自由意見欄の記載

☆最後に選挙に関するご意見がありましたら、ご自由にお書きください。

回答者のうち、180 人から自由意見の記載があった。内容から次の 8 つに大別し、掲載した。

- | | | | |
|--------|-------------|--------|-------|
| 1：投票所 | 2：選挙意識・投票行動 | 3：政治活動 | 4：広報 |
| 5：選挙運動 | 6：選挙制度 | 7：教育 | 8：その他 |

1：投票所

投票する前に、名前・党など確認したいので、投票所前に各党の候補者を掲示するとよいと思う。投票所内に掲示しても緊張して焦ってしまう。投票者がスムーズに、落ち着いて記入できるようにお願いしたい。

和光市駅北口で期日前投票しました。思ったよりたくさんの人が投票に訪れていたため、投票までかなり待たされました。土日は投票に行く人が多いと思われるので、処理要領を検討してほしいです。入口に机と申請用紙が置いてあるだけで、投票の流れが分かりにくかったです。入口の宣誓書に記入して受付に行ったら、入場整理券の宣誓書と重複してしまいました。

私の居住している新倉地区は坂が多く、歩行が困難な有権者は投票に行きにくいと思います。

投票所の狭い教室に入って、後ろで立会人にじっと見られていると緊張する。学校の場合、広い体育館とかにはできないか。

投票所に座っている立会人が毎回同じ人というのもおかしいことと思います。公募しないのですか？

投票所が遠い。坂下公民館ではだめですか。投票しない人には税金を上げる、投票する人には税金を下げる、商品券を出すなど特典がないと投票率は上がらない。

高齢の母がいるため、投票所が空いている時間帯に行くので問題ないですが、もっと駐車場が広いとよいです。高齢の方で 1 人では投票にいけない方も多数いると思います。要望があればデイサービス等で投票箱を置き、違反がないように責任者を置いて一定期間投票できればもっと投票数が上がると思います。駅前、もしくは大手ショッピングセンターなど人が集まりやすいところにも設置する。身分証を提示して違反が行われないようにチェックするなどどうでしょうか。

休日が投票日のため、投票に行かないという人が多いので、期日前投票はとても良いと思います。期日前投票所をスーパーの近くなど、もっと増やせばいいと思います。

本庁舎の期日前投票所は道路、入口に大きく表示してほしいです。駅近くに投票所を作るのもいいと思います。高齢者は不便なところへ行けません。

体の不自由になった知り合いから期日前投票が市役所でできるので、車が停めやすく、時間もゆとりが持ててよいと聞きました。行きやすさは大切なことだと思います。

下肢が不自由なため投票所のコミセンへ歩いて行けません。できればフラットな場所での投票場所をお願いします。

以前は投票所が白子小でしたが近くのしらこ保育園になって便利になりました。市の中心から離れているので選挙カーや広報車等あまり見かけません。何か取り残されている感じです。棄権するのはいやなので選挙には必ず行っていますが、若い世代の人にもたかが一票と思わず自分の権利を守ってもらいたいです。
投票したくても投票所まで歩くことができない高齢者への対応は何かしていますか。特に1人暮らしの方、誰にも送迎してもらえない方は国民の権利であるはずなのに投票をあきらめるしかないのです。一人でも多く投票できるよう支援の手を差し伸べてほしいです。
期日前投票所の投票時間を朝早くや夜遅くにも設定してほしい。和光市駅だけでなく、成増駅や西高島平駅近くにあれば行きやすい。
最寄り駅が成増や高島平方面のため立看板や垂れ幕など一切目にすることなく投票日を迎えることがある。ただ座って睨んでいるだけの投票立会人の存在がいやです。
吹上コミセンに行くには坂を登らなくてはならないので足の悪い方、高齢者には不便。投票所の係員が多すぎる。特に座っているだけの人はおしゃべりに夢中で邪魔。投票者に対して失礼。
今年の期日前投票所でうちわをもらったが無駄な経費を使っていると思う。
立会人が見ていると緊張するのでどうにかできないでしょうか。たくさんの人が投票に行くには投票所の雰囲気を変えないと行かないと思います。
白子コミセンは近くに公園があるので小さい子がいる我が家では「公園に行こうか」と家族で選挙に行けます。投票自体は時間はかかりませんが、投票所内、近くに子供が遊べるスペースがあると投票に行くきっかけになると思います。
しらこ保育園ですが投票箱の位置が紛らわしいので変えてほしい。小選挙区と比例区の箱が並べられていますが、いつもどちらに用紙を入れるか迷います。箱をもっと離し、人の動線を考えた配置にしてほしい。しらこ保育園以外の投票者にきいたら、こんな近くに並べて置いている所はありませんでした。
投票に行くと立会人が前に座っているのがいやです。
記憶違いかもしれませんが私が20代の時は投票所の係員の数がもっと少なかったと思います。何かあったときの対応には良いのですが、なんだか見張られているような気がします。
投票日に出勤が多く、期日前投票は助かります。指定の投票所では車の乗り入れが不便なため、市役所でも投票できることは母にとって積極的に投票に参加できる手段です。駅の改札そばにポスター掲示板を貼り出して、立候補者の顔だけでも覚えてもらうのも関心の第一歩だと思います。
近くに投票所があるのに、自分の住んでいる区域の人は遠い投票所に行かされている。
選挙に携わる人達の数が多く感じる。
総合福祉会館で投票しましたが、会場を1階にしてほしい。できれば指定された投票所ではなく、自分の都合の良い所で投票できるようにしてほしい。
期日前投票に出かける際、交通が不便である。
投票所に駐車場があると良い。
投票所に駐輪場が無いように思われた。

子らはそれぞれ投票所が違います。孫はまだ小さいので、投票所では大きな声で遊びだします。そこで、期日前投票に皆で出かけて孫を順番に見ながら投票しています。小さい子連れの家族にとって、投票する間子供を預かってくれるようなものがあると、もっと投票数が多くなると思います。
期日前投票所を増やしてもらえると助かります。通常の選挙場所も使えれば投票率アップにつながるのでは。携帯やパソコンからも投票できればいいのですが、管理が難しいのでしょうか。日頃から駅に立っている議員さんに興味があり、応援しています。顔を売るのも大事なですね。
期日前投票所を増やしてほしい。
投票所の雰囲気をもるい、やさしい、入りやすい感じにしてもらえるといいと思います。見張られているような、少し威圧感さえ感じます。
牛房コミセンは車では行きにくく、最後の坂が大変。雨の日だと滑ったりして危険なのでは、と感じました。
練馬区に隣接しているので、両方（埼玉・東京）の候補者の車が回り、自分の地域の候補者を把握していないと聞き損ないます。場所的に仕方がないですが、紛らわしさに翻弄されます。期日前投票所には市のバスか坂道を頑張って自転車で行かなければなりません。バスは本数が少なく、自転車は体調・天候に左右されます。歳をとれば利用しにくくなります。ご一考くださるとありがたいです。
期日前投票の機会と場所を増やせないか。そうすれば当日は午前9時から午後5時まででも良いと思う。選管の啓発活動は今ぐらいでよい。あまり活動しすぎるとそれを好ましく思わない者もいる。
坂道は老人にはきつい。階段では車椅子が使えない。
期日前投票をしようとしても、時間を作ってまで投票をしたいと思わない人は多いと思います。吹上出張所まで坂道がたくさんあり雨の日や小さい子を連れて出かけるにはいきたくない場所だと思います。もっと行きやすい場所を会場として増やしてほしいです。当選者がその後何をしているか私たちにはわかりません。もっと地域に密着しても良いと思います。
家の近くに投票所があるのに、遠くの別な投票所に行かなければならない。
吹上コミセンの駐車場が狭い
期日前投票所として駅北口事務所を利用されていますが、北口側から通勤通学されている人には行きやすいですが、南口の人は通勤通学帰りに利用しようと思う方は少ないのではないのでしょうか。行政では南口は市役所と考えているかもしれませんが、市役所では距離があります。車の方は市役所、徒歩・駅利用者は北口事務所か駅出張所の利用を考えるのも一つだと思います。一人暮らしの高齢者や家族に迷惑をかけたくないという高齢者もいらっしゃると思います。身障者手帳を持っていなくても高齢者は郵送で投票できるように改善したらいいかがでしょうか。また、新聞を取っていない方もいるので候補者の情報を投票整理券と一緒に郵送してはいかがでしょうか。
期日前投票所として駅北口投票所がありますが、本庁舎の日時と同じではないので同じにしてほしい。期日前投票期間だけ和光市駅構内に臨時プレハブの建物を建てて設置すれば投票率のアップにもつながるのではないか。

今回、北口の投票所に行きましたが4時からしか開いておらず、二度手間になった。朝から開けることはできないのでしょうか。また、期日前投票期間中は駅前に場所や時間を示した看板を置くといい。数日でよいので、かなり遅くまで投票できる日を設けると、さらに良いと思います。

2：選挙意識・投票行動

選挙は国民の大切な権利であることを、もっと皆に理解させる方法があれば、投票にそっぽを向いたり、なんとなく票を投じたりというような無関心な行動が少なくなると考えます。選挙にいやいや行く消極的な感覚がある限り、投票率の向上は難しいと考えます。

どの政党、どの候補者に投票したら、自分の生活にどのような具体的な変化があるのかを情報として知りたい。具体的なことが分かれば、若者でも選挙に行く人が増えるのでは。選挙管理委員会が税金を使って選挙をアピールしても、投票率のアップには直結しないと思います。

一人でも多くの有権者が投票するようにしたいですね。

選挙だけでなく、全てにおいて緊張感に乏しい人が多い時代のようにです。何事にも無関心な人達に活を入れるような議員が出れば、選挙の投票率が上がるかもしれません。

今世の中を動かしている若い世代がもっと政治に関心を持っていかなければならないと思いますが、日本を、和光を良くしていこうと本当に情熱を持った政治家が出てこない、若い人の目を選挙に向けることはできないと思います。携帯ばかりに目が向いて、周りの様子を見ない若者が多く、日本はどうなっていくのか心配しています。

一人でも多くの人が政治もっと関心を持ってほしい。選挙の一票はとても大事なことです。無関心な人が多すぎると思います。

昨年他県から引っ越してきて、さらに勤務先は都内なので、埼玉県（和光市）の候補者についてなじみがなく、よくわからない、地域への愛着がまだわからない、というのが本音です。自分自身の問題ではありますが、こういったことも投票へ行くのをためらう一因ではあります。

投票率の向上について、献血のように来場者に景品を渡すと効果があると思います。和光市駅で何回かウェットティッシュをもらいましたが、私のように同じ人が何回ももらうようになるので、効果がないと思います。駅北口の期日前投票所に行ったことがあります、細い道が暗くて怖かった。本当にこの先に投票所があるのか不安になりました。

国民が幸せになるにはどうしたらよいかということが大事です。民意を受け止め、実行すれば皆投票に行きますよ。国民の心を動かすリーダー格の方がが必要です。

政治に無関心な人が多すぎる。各政党は私たちの生活に直結することをもっとアピールし、有言実行すれば選挙に行く人が増えると思う。

今回の選挙が初めてでしたが、当日候補者の名前を見ても誰が誰だかわからないまま投票しました。投票した意味があったのか、これなら投票しないほうが良かったのかなと思いました。私みたいに政治に無関心な若い人達が選挙に行かないのだろうと思いました。

自分の一票では何も伝えられないし変わらないという無力感を感じます。何かの形で自分の一票の重さを感じることができれば、選挙に行く人はもっと増えると思います。

投票率が低いのは「政治的無関心」の一言で片付けられるものではないと思う。世の中の様々な問題をリンクして考えるべきで、選管が単独で策を講じても効果は上がらないと思います。
投票率の上がる仕組みが必要。
もっと投票しやすい環境づくりが必要だと思う。さらに、一人ひとりの選挙に関する意識を高めることが必要だと思います。
投票に行くか行かぬかは、個々の自由意志によればいい。
投票率を上げる以前に、政治に関心を持てるようにすることだと思います。今の政治家を信頼できないと思っている人は多いと思います。日本の政治家は特定の支持組織やお金を持っている人、世襲で当選する確率が高いと思います。一市民が立候補でき、その人をサポートできる環境があれば、社会を変えたいと行動を起こす人も多くなるはずだと思います。
国政選挙は新聞マスコミ等で関心を持つので投票に行きますが、県議選等は候補者の主義主張が分からず、あまり投票に行きません。埼玉等、首都圏に住んでいる地方出身者は地元意識が薄いのが原因だと思います。地方選も分かりやすい身近な選挙にしてもらいたいです。
当選者がどのような仕事をしたのか分かりません。そのため、誰が当選しても世の中変わらないという思いから投票に行かない人が増えていると思います。政治が自分の生活と密接に結びついている実感があれば、自ずと投票率は上がると思います。
子供が小さいため、選挙に行くのであれば一緒に連れて行かなければならないのですが、選挙当日子供の体調不良などあれば行くことはできません。子供が成長して少し手が離れれば、行きたいとは思っています。
委員会は投票率向上が使命。
投票率の低下は政治への関心が少ないのが問題だと思います。公報は駅周辺や構内に掲示できると効果があると思います。市議選などでは立候補時の公約と日常の活動が違っている人が多く、選挙自体の信頼性が失われていると思います。皆が政治に関心を持たなければ投票率も上がらないので、有権者の意識改革が最初だと思います。
期待できる候補者に現れてほしいです。今は少しでもマシな候補に入れる、という状態です。公約を守る云々以前の問題です。
最近の地方、国政選挙を問わず50%に達しない投票率。どの党が与党になっても変わらない。なんでも人任せ、人のせいにする国民。権利を行使しないことに将来が心配です。
「選挙の貴重な一票で政治を変えたい」という国民の権利が、政治に反映できるのかという疑問とあきらめ感、政治家が身を切って予算を福祉にまわすどころか私腹を肥やして金持ちを優遇、低所得者に厳しい生活を強いるといった政治不信が投票率の低下の原因だと思う。公約を実践しない政治家は退陣するしかない。その意味においても、当選者が公約をどれだけ政治に反映したか有権者に公表する義務がある。比例代表制度の見直しをすべき選挙区で落選した人が比例で当選は納得できない。
マスコミが選挙前に結果予測等頻繁に書きますが、自分の思惑と差が出てくると、白けてしまつて選挙に行く気がなくなります。行っても無駄かと思ってしまい、今回などしぶしぶ行ってきました。
国が投票率を上げたいと本気で思っているのか疑問です。

選挙は衆議院、参議院、県知事、県議会選挙などがあり、私たちに一番身近な市議会議員選挙でも立候補された方が遠い存在にしか感じられないことが、選挙に関心がなくなる一因だと思います。議員の方々から市民一人ひとりに近づくのは無理だと思いますので、私たちがもっと立候補される方の政策や意見など、政治に目を向けなければならないと思います。

投票率の低下は由々しきことですが、投票率が悪いと具体的にどうまずいのか分かれると選挙に行く人も増えるのかもしれませんが。期日前投票や投票所の配置などの技術的なサポートは従前から尽くされていると思います。あとは、行く人の意識の問題だと思います。私は日本に選挙はなじまない気がしています。国民に「自分が選んだ」という意識がなく、代表者は責任を取らないからです。

2大政党で政変がありそうだと選挙に行く。誰に票を入れても政治は変わらないと思うと、投票所に行かない。

投票日に仕事が入ると投票に行かない人を何人も見てきた。インターネットで投票ができるようになれば移動しながらでもできるので、仕事を理由に行かないということはできなくなると思う。行かない人の理由として、政治家を誰にしても政治は変わらないとあきらめている人が多いと思う。車で投票日をスピーカーで流してもうるさく感じるだけで、余計に投票する気がなくなる人は多々いると思います。

3：政治活動

当選者の公約が実現しないのが、大変残念に思います。

選挙離れがおきるのは、その投票が意味あるのか分からなくなっていることだと思います。当選者が応援した人たちにどれだけの事を果たしたのか、努力したのかも分からない。だから選挙だけ促すのではなく、当選した人が実現してきたことも公表すればよいと思います。若い人達は自分の投票に意味があったんだと実感し、より選挙のことを考え、国のことを考えるに至るのではないかと思います。

当選した人の実績をもっと公表してほしい。誰が何をしたか、明確にわかれば次の選挙も必ず投票に行くと思います。マニフェストはあっても実際にそのとおりでできたこと、ダメだったことを明確に公表してほしい。何もしていない党がいかにも自分の党がやったようなウソはやめてほしい。

選挙前になると特定の候補者ばかりが駅前立っていて、全候補者の公約など知る機会が少なく参加しづらい。選挙後は公約達成したかは有権者が自ら調べないと目に見えてわからず、政治への関心を寄せにくい。曜日時間が不規則な仕事をしているため、もう少し期日前投票に幅があるとありがたい。毎回ポスターを張るための板が新しいように見えるが必要か？選挙に関しては全体的に予算を無駄に使いすぎているようにしか思えず、好感が持てない。

選挙のときだけ名前をアピールしている候補者が多く、ポスターだけ見て投票しているのが現状だと思う。具体的に公約実現がどれだけできたか掲示してほしい。

選挙後、当選された方の活動が全くわかりません。自然に耳に入るような内容の活動をされていないのか、こちらが知ろうとしないとわからない程度の活動なのか…意味がないように感じてしまうので、フィードバックがほしいです。

選挙期間中だけ「お願いします」ではなく、当選してからの活動を何らかの方法で選挙人に知らせるべきではないでしょうか。
市議会選挙では誰が当選したのか分かるのが遅い。県議選では候補者は回ってくるのが殆どない。選挙の際の公約が当選後どれだけ果たされたのか判明しない。きちんと成績評価を発表すべきだと思う。選挙後ポスターなどは速やかにはずすべきだ。風に吹かれて汚いとみっともない。
候補者は選挙前には皆良いことしか言わないが、当選してもなかなか国までは動かせないので、誰が政治家になっても同じだ。
選出された議員は国民に選ばれたという自覚を持ち、本当に国民のために一生懸命働いてほしい。参議院は衆議院のように、途中で選挙で変えられることがないので、漫然と仕事をするのはやめてほしい。
現在の政治は税金を上げることしか考えていない。この先、自殺者が増えると思う。低収入の者は生き残れない。こんな事では選挙に行く者はいなくなる。誰を選んでも同じこと。
当選した人は広報等で自分の考え、行動等を示すべきだと思う。
選挙時期だけいい事を言って、実現されることが少ないことや、政治家の不祥事が若者の選挙離れにつながっている。実現した公約はしっかりとフィードバックして国民にアピールしないと、「誰が政治家になっても一緒、何も実現されることはない」というイメージが消えないと思う。
タレント候補など、勉強不足の立候補者が散見される。国民不在と思われる選挙となっている。
誰が政治家になっても政治は変わらないので投票する気にならない。議員の給料を下げ、それでもやりたいという人になってもらいたい。
与党には成果を野党には今後のビジョンを持って選挙に臨んでほしい。価格.comみたいに候補公約等を比較できるサイトがほしい。「比較する」ボタンは必須。
今の政治がまったく信用できません。お金持ちばかりが有利で、一般人は貧乏になってゆくような政治にしか思えません。オリンピックに力を入れるのと同じように福島にも力を入れてほしい。
政治政党について分かりやすく国民に教えてほしい。自分の一票は国民一人の貴重な一票という認識はある。でも政治についてよく分からないので分からないまま一票を投じる勇気もない。どこの政党が政権を獲得しても好転は期待できないとも思っている。
池上彰のような細かい候補者解説が欲しいです。
選挙後に我々の生活に何か変化があったか見返してみますが、何も変わっていないというのが実感です。当選された議員の方は市民目線の政治活動をしてほしいです。
当選した政治家が実際にどんな成果を出したか結果を示してほしい。
どの党、どの候補者が当選しても政治は大変な仕事だと思う。今後頑張ってもらいたい。
立候補者が選挙の時だけ国民に対してお願いしますと言いますが、投票後のお礼などの会も行ふべきと選挙の度に思います。国民は当選した人がこれからどうしたいかの具体的な話を聞きたいためではないかと思います。
当選した暁には、私利私欲に走る政治家が多い。

選挙の際、候補者の経歴よりも、前回の当選時の公約をどれだけ達成できたか等の、実行力を推し測る資料の提示をしてほしいです。
今の政治家は国民のためなどと口先ばかり、私利私欲に走っているだけなので、選挙には消極的になります。もっと良い意味での政治家が現れることを望んでいます。そのためにがんばれ野党とエールを送りたい。
候補者は公約を解かり易く説明することはもちろんですが、現職者の場合は必ず当時の公約を政治にどれだけ反映させたか、有権者に解かり易く公表する。当選後にもすべての当選者が具体的に細かく公約を政治にどれだけ反映させたか説明する。
公約はよく耳に入るけど、公約をどれだけ達成できたかなどの成果が見えない。達成できなくても結果発表が見たい。
どの政党の人がどういうことを考えているのか、どのような政策を考えているのかわからない。

4：広報

子育てで新聞やTVを見る余裕もないと、候補者が何を伝えたいのか、自分は誰を応援しているのかわからないので、結局投票に行かないということが何回かあった。簡単でいいので、ポスター掲示板に候補者の考えなども載せてくれると、気になった方のホームページを見てみようと思えてよいのでは。
選挙公報を読む意義をもっと知らせるべきである。今回「みどりの党」の存在を選挙公報で初めて知った。マスコミにも責任がある。
防災無線でのお知らせは、時として聞こえにくく何を言っているかがわからないことが多々ある。広報車については、一度も広報活動をしているのを見たことも聞いたこともない。市内をまんべんなく広報車を使わないと広報の意味はないのでは。投票所にいる女性職員には服装が華美な人がいる。
選挙公報を広報わこうのように各家庭に配布してほしい。街頭演説や選挙カーはうるさいだけで税金のムダ使い。NHKでの演説の放送時間帯を知らせることでじっくり選ぶことができるのでは。
自宅から成増駅に行く間にポスターや看板が無いので候補者の情報がわかりませんでした。成増では候補者の演説を見かけましたが、自分の選挙区の候補者を見聞きできませんでした。
候補者のマニフェストがもっと事前にわかるようにしてほしい。
投票前から既に結果が決まっているような印象を与えるマスコミの報道が、投票率・関心の低下を招いているように感じる。選挙結果が分かった後に与党政策批判をする番組が多く、投票前に同様の内容が報道されれば結果も変わるように思う。
誰がどんな公約を掲げているか、当選したかを広報誌などで分かりやすく教えてほしい。
余計な広報活動は税金のムダ使いである。政治が生活を良くする実感があれば誰でも選挙に参加する。
候補者の方を知る機会（直接会ったり、演説を聴く）が少ない。もっと身近に感じるほうが良いと思う。自分の住んでいる地区と通勤の最寄り駅は地区が別なため、自分の地区の候補者の演説を聞く機会がない。

選挙に関する情報の報道のあり方に非常に問題があると思います。悪い面から見た政治のニュースは頻繁に行われていますが、良い働きをしている人達のニュースは短い期間で終わってしまいます。良い政治が長く続かないのは、情報をうまく集められない人の増加とそういった人達への偏った情報提供だと思います。マスコミを信じなくなりました。
広報活動をスピーディーにかつ正しく伝えるためには現存のスピーカーの位置（設置）を検証するべきだと思います。最近は建物の多様化で反響のために正しく音が伝わらない。ぜひ効率性を十分検証する必要がある。現状では何を放送しているか不明である。広報のスピーカーに関心を寄せる姿勢は大事だと思う。
候補者氏名と公約を調べる手段が無いので、広報誌に詳しく載せてもらいたい。
候補者リストとその公約などについての一覧表を作って配布してほしい。

5：選挙運動

市議選で各会派の公約が不明確。名前だけ連呼し、「うるさい」と感じる人が多い。出馬する方の「合同所信表明演説会」等企画できないものか？又は会派別でも構わないので、企画をしてほしい。
各家庭訪問は違反ですが電話はいいのでしょうか？遠方の知らない人から電話で投票を頼まれるとびっくりしますし迷惑です。自分で選んだ人に投票しますので、電話も違反にできないのでしょうか。
立候補者の選挙運動について騒音としか思えない場合があるので音量の制限を設ける等の措置を講じてほしい。また、過剰な支援活動等により通行の妨げになっていることも多々あったので制限すべき。
投票しろというのなら投票所やバスの本数を増やしてほしい。選挙をする上で名前や考えを覚えてもらうのは必要と思いますが、朝や夜の忙しい時間帯の駅前などで、うるさい演説をするのはやり方など考えてほしい。
街宣車がうるさい。分かりやすい政治を。公開資料等も分かりづらい。分かるように学習しなければならないのか。
候補者の公開討論会を地域別に行ってほしいです。
住宅街で選挙カーでの呼びかけはうるさいのでやめて欲しいです。駅前だけにしてください。
日本の選挙運動のうるささにはうんざりです。大声を出さない人に投票します。
選挙カーの音がうるさい。子供のお昼寝の時間帯で保育園や幼稚園の近くで大音量で活動するのはいかがなものか。子供と一緒に投票所に行くと入口で「子供は入室禁止」と言われた。対応がひどいです。子育てがしにくい和光市というのがよくわかりました。母と子供で行ったのですがどうすればよいのでしょうか。
選挙カーでの活動は控えて欲しいです。赤ちゃんがいるため、お昼寝の時間にはとても困りました。
選挙カーやめろ。うるさい。迷惑。
選挙活動の時間や場所について、車で大きな音を出す活動を控えたりするなど配慮があってよいと思います。学校や幼稚園・保育園の周り、小さな子供がいる家庭では迷惑な場合もあります。「国民・市民の立場になり～」と言っているのですから、なおさらでは？

選挙カーはうるさくて迷惑。ポスターや看板を出しておけば十分。今の若い世代は毎日忙しく決められた日時場所へ行くのは難しいのです。ネットで簡単に候補者の情報が見られて、それに対してのコメントなどがいろいろ書かれていて、それを踏まえたうえで「この人にしよう！」とポチッと一票入れられるやり方があっていいと思います。
せっかくの休日の早朝から選挙カーでのアナウンスは本当に迷惑。朝は10時以降にしてほしい。選挙カーがうるさい候補者には絶対投票するもんかって思っています。
選挙カーの音量が大きすぎる。生まれたばかりの子がその音量で起こされてしまい、とても迷惑。午前中だけとか、時間制限してほしい。
白子のはずれのせいか、広報車や候補者もあまり来ない。和光に越してきて10年だが、選挙の時に前に住んでいたところではうるさいくらいに候補者が来ていたが白子ではほとんどない。その為、候補者が来たらその人に投票するようにしている。どちらかといえば東京の候補者の宣伝カーの声のほうが頻繁に聞こえてくる。

6：選挙制度

とにかく国会議員の数が多すぎる。半分ぐらいまで減らす努力をしてほしい。
インターネット選挙（若者参加向上策）
選挙は税金のムダ使い
ネット選挙が可能になれば、若者の投票率も上がると思う。選挙の広報活動は、若者を重点的にしてほしい。
ネットで投票できるようになると、投票率も上がるのではないかなと思う。
投票所が家から遠い。練馬区でも投票できるようになればありがたい。
最高裁の国民審査は無意味だと思う。
小選挙区で落選して比例区で当選するのは変だと思います。
選挙管理委員会の方はどのようにして選ばれたのですか？
女性としての意見ですが、仕事・育児で投票所に行けません。インターネットでの投票は必須だと思います。当選者がどれだけの成果を出しているかも分からないので選挙をやっても意見が無いです。
他県と一票の格差があるからといって選挙を無効にするのは反対。
開票作業を効率化して、投票時間を延長してほしい。
ネットやケータイから投票できたらいい。土日は仕事があり、なかなか投票所に行けない。
情報の管理に不安があるので、インターネット投票はまだ早いと思います。
選挙はいつも投票していましたが、近年はタイミング悪く投票できていません。確定申告もパソコンでできる時代、選挙もパソコンでできたらなあとおもいます。
投票率を上げることを考えれば、全国どこでも投票ができるようになればよいと思う。東京の人が大阪のユニバーサルで、各地の人がディズニーランドで…というように。二重投票、不正投票などの問題が解決すれば、投票率の向上は確実になると思う。
一票の格差の是正を実現してほしいです。
不在者投票に関して、かつて一度経験しましたが、無記名が本来の投票なのに対し投票用紙を入れる封筒に住所氏名を記載することには大変違和感がありました。

期日前投票に行きたいのですが、当日の投票所より不便なところがあるので、天気・都合等で行けない時がありました。通勤の都合で最寄の駅は都内になるため、県外どこでもできるようにあればありがたいです。
投票の仕方が限定的すぎる。方法も日時も。社会を支えている世代（３０・４０代）の生活にもっと合わせてほしい。忙しくしている人ほど、政治に関わるべきなので。でも、結局は選挙のあり方よりも政治のあり方次第。それが変わらなければ選挙に行こうという気にはなれないと思う。
インターネットなどを活用し、選挙対策費を節約すべき。
子育てをしている主婦です。子供を連れての投票は周囲の目や体調など左右して行けないのが現状です。インターネットや郵便などで投票できるシステムができることを期待します。各候補者の演説や、その内容の記事など難しい言葉が多く、興味が薄れます。もっと分かりやすく面白い内容だと若い世代でも選挙の大切さを知ってもらえるのではないのでしょうか。
小選挙区を廃止すべき。比例代表制に変えてほしい。
どの選挙でも投票率が低いので、もっと上げることを考えてほしい。和光市民は和光市のどこの投票所でも投票できるようにしてほしい。
公約を守らなかったり、公約を守ることに腐心したり。公約とは何ぞや?驕る政治家、数あわせだけの党利政治。急を要することが山積なのに身を削ることもせず何をやっているのか。自分たちの将来なのに若者たちが政治に無関心、選挙に行く気もない現状を何とかせよ！選挙民の意志が反映されない今の選挙制度も変えるべき。
１８歳以上にも選挙権を与えるべき。
投票所以外でも投票できるインターネットによる投票が良いと思う。候補者の意向がもっとわかればよい。
投票に行けない時もあるので、ネットを利用したい。

７：教育

選挙をもっと身近にする。有権者が自分たちの代表を選んでいる責任感を子供のうちから学ばせる。投票した有権者にボーナスを与えるなど利点をつける。
２０歳を迎えると選挙権があります。でも選挙に行こうと思う若者は少数なのでは。私もそうでしたが若いときは選挙には関心がありませんでした。できたら子供の頃から選挙に興味を持てるような事ができたらよいのかなと思います。ぜひ一票を投じて政治に興味を持ってもらいたいです。また、皆さんの一票が政治を変えられるのだと思います。
婦人参政権など先人たちがどんなに大変な努力を重ね、成人の国民全員に選挙権を得てきたか教育することが大切だと思う。
小中高において選挙についてもう少し教育があればよいと思う。
政治が国民に与える影響を具体的に子供の頃から教育する、政治家の公約成果の報告が重要だと思います。公約は強調しても、その成果がどうなったか分かりやすく報告してくれるメディアも場も限られているように思います。
小中学校の頃から政治や選挙に関することを、もっと時間を多くとり勉強すべきと思いました。

選挙で期待するものはないけれど、投票で意思表示しないといけないと思っています。9歳の息子は投票所には入れませんが必ず連れて行きます。親のすることに関心を持ってもらいたいからです。その結果、開票中継や新聞を見るようになり、関心を持つようになりました。家庭で選挙の教育？ができればいいのですが、学校でも学年に合わせた教育があるといいです。子供たちが選挙に興味を持てば選挙権を得たときに必ず行くのではないかと。自分たちの世代は自分で作り守っていく。無関心な人が増えないでほしいです。
選挙に無関心なわけではないのですが、新聞やニュースを見ても政治をすぐに理解するのは難しいと思います。もっと小さい頃から細かく分かりやすく政治経済の仕組みを教育すべきだと思います。私たちの学んだ政治に関する勉強は短時間で外枠のことばかりで興味魅かれるものではなかったです。
政治や選挙が自分たちの生活にどのような影響があるのか、実感できづらい現状の中で、選挙に行かない人も多い。選挙に行っていない親を見て育つ子は、同様に関心を持たず行かないと思える。教育場面での啓発が重要と思う。
衆議院の選挙後、男性の多い美容院で選挙に行ったかどうか聞いたところ、行った人はいませんでした。関心がない、面倒など。自分の国のこと、他人事のように考えているのではないかと思います。子供の頃からの家庭、学校の教育が大事ではないでしょうか。

8：その他

このようなアンケートを、無作為に選り突然答えろとは大迷惑です。選挙に関心のある方にお願ひしてください。
選挙に行った人が30%、その半数が選んだ市長など周りは支持していない人ばかり。
投票日は休日、予定を返上して準備などでかかわる方々は大変だと思います。そのような皆様方ご苦勞様です。
返信用封筒は受取人払いにすべきです。
このアンケートにも税金が使われていると思うが無駄ではないか。選挙参加を推進したいのなら駅中に期日前投票所を設けるなど具体策を実行してその結果を見ればよい。
返信用封筒に切手を貼るのは税金のムダです。
表通りばかりでは分かりません。
このアンケートを和光市の選管が行うのはどうしてでしょうか。地域性のない設問ばかりですが、まずは地域性を除いた設問を全国で実施して、問題が見られる地域で、そこの選管が対応すればよいのでは。投票率が低いのは個人の意識の問題なので、和光市だけで取り組んでも無意味と思います。このアンケートを地域別に行うことによる税金の無駄が心配です。
今後の活動に期待しています。

4 調査票

選挙に関する意識調査

和光市選挙管理委員会では、有権者の皆さんの投票参加を推進するとともに、選挙執行管理の参考資料とするため、このたび「選挙に関する意識調査」を実施します。本調査の実施にあたっては、選挙人名簿から統計的な方法で無作為に選んだところ、あなた様にご意見を伺うことになりました。どうかご協力をよろしくお願いします。

今回の調査は無記名で回答するもので、個人が特定されることはありません。また、集計結果はすべて統計的に処理しホームページ等で公表しますので、皆様の率直なご意見をお寄せください。なお、いただいた回答は本調査以外に使用しません。

《 記 入 に 関 し て の お 願 い 》

1. アンケートの回答は必ず本人が行ってください。
2. 回答は次の要領で行ってください。
 - * 記入は濃い鉛筆か黒または青のボールペン・万年筆でお願いします。
 - * 質問ごとに当てはまる回答の番号を選び、その番号を○で囲んでください。
 - * ○の数は（一つに○）（三つまで○）といった（ ）内の案内にあわせてつけてください。
 - * その他の（ ）内には回答を具体的にご記入ください。
 - * 質問によっては回答する方が限られるものもあるので、ことわり書きにご注意ください。
3. 質問内容など不明な点がありましたら下記までご連絡ください。

ご記入された調査票は、同封の返信用封筒に入れ、

11月6日までにご投函されるようお願いいたします。

調査主体	和光市選挙管理委員会
	〒351-0192 埼玉県和光市広沢1-5
電 話	048-424-9152
MAIL	i0200@city.wako.lg.jp

調 査 票

問1 あなたの性別をお答えください。(どちらかに○)

- | | |
|------|------|
| 1. 男 | 2. 女 |
|------|------|

問2 年代をお答えください。(一つに○)

- | | | |
|--------|--------|----------|
| 1. 20代 | 3. 40代 | 5. 60代 |
| 2. 30代 | 4. 50代 | 6. 70代以上 |

問3 和光市のどの地区にお住まいですか。(一つに○)

- | | | |
|--------|--------|-----------|
| 1. 新倉 | 5. 本町 | 9. 諏訪原団地 |
| 2. 下新倉 | 6. 丸山台 | 10. 西大和団地 |
| 3. 白子 | 7. 中央 | 11. 南 |
| 4. 広沢 | 8. 諏訪 | |

問4 あなたは本年7月に行われた参議院議員通常選挙の投票に行きましたか。

(どちらかに○)

- | | |
|--------|----------------------|
| 1. 行った | 2. 行かなかった(次頁問9へ進みます) |
|--------|----------------------|

問5 (問4で「1. 行った」方へ)

あなたが投票に行ったのは、どういう気持ちからですか。(一つに○)

- | | |
|--------------------|---------------|
| 1. 応援している候補者や政党がある | 4. 組織・知人に頼まれた |
| 2. 今の政治を改めたい | 5. わからない |
| 3. 国民の権利だから | 6. その他() |

問6 (問4で「1. 行った」方へ)

あなたは今回の選挙でどちらの施設で投票しましたか。(一つに○)

- | | |
|------------------|--------------------|
| 1. 白子コミュニティーセンター | 11. 第四小学校教室 |
| 2. 白子小学校教室 | 12. 本町小学校体育館 |
| 3. 新倉コミュニティーセンター | 13. 新倉北地域センター |
| 4. 第三小学校教室 | 14. 第五小学校体育館 |
| 5. 牛房コミュニティーセンター | 15. しらこ保育園 |
| 6. 北原小学校体育館 | |
| 7. 市民文化センター展示ホール | (期日前・不在者投票所) |
| 8. 総合福祉会館会議室 | 16. 市役所本庁舎 |
| 9. 吹上コミュニティーセンター | 17. 駅北口土地区画整理事業事務所 |
| 10. 大和中学校教室 | 18. その他() |

問7 (問4で「1. 行った」方へ)

あなたが投票所へ行った際の交通手段は何ですか。

(一つに○)

- | | |
|---------------|------------|
| 1. 徒歩 | 4. バス |
| 2. 自転車・バイク・原付 | 5. タクシー |
| 3. 自動車 | 6. その他 () |

問8 (問4で「1. 行った」方へ)

あなたが行った投票所(自宅からの距離・設備・駐車場等)についてどのように思いますか。

(一つに○)

- | | |
|---------------|------------|
| 1. 満足している | 4. やや不満がある |
| 2. だいたい満足している | 5. 不満がある |
| 3. どちらともいえない | 6. わからない |

※「4. やや不満がある」「5. 不満がある」に○をつけた方は最終頁の自由意見欄にご不満な点や要望をご記入ください。

問9 (問4で「2. 行かなかった」方へ)

あなたが投票に行かなかったのは、どういう理由ですか。

(一つに○)

- | | |
|------------------------|----------------|
| 1. 仕事・用事があった | 5. 政治・選挙に関心がない |
| 2. 病気・けが・高齢 | 6. 投票に行くのが面倒 |
| 3. 投票したい候補者や政党がない | 7. わからない |
| 4. 投票前から当選する人・政党が予想できる | 8. その他 () |

問10 投票日当日に理由があって投票に行くことができない人のために、期日前投票所(制度)があります。和光市では、期日前投票所を市役所本庁舎と、和光市駅北口にある駅北口区画整理事業事務所に設けていますが、このことを知っていますか。(一つに○)

- | |
|---|
| 1. 期日前投票所および制度ともに知っている |
| 2. 期日前投票(制度)は知っているが、市役所または駅北口に期日前投票所が設けられていることを知らなかった |
| 3. 期日前投票制度自体を知らなかった |

問11 あなたが選挙の際に広報誌やホームページ等で知りたい情報は次のうちどれですか。

(当てはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------|--------------|
| 1. 投票日時と場所 | 5. 投票状況の速報 |
| 2. 期日前・不在者投票について | 6. 開票結果の速報 |
| 3. 候補者氏名(政党名)と公約 | 7. 知りたいものはない |
| 4. 投票できる人の要件 | 8. その他 () |

問１２ あなたが選挙のお知らせ手段として役に立っていると思うものはどれですか。

(当てはまるものすべてに○)

- | | |
|-----------------------|----------------|
| 1. テレビ | 8. 啓発用ポスター・チラシ |
| 2. ラジオ | 9. 立看板・たれ幕 |
| 3. 新聞 | 10. 街頭キャンペーン |
| 4. 候補者や政党のメール・ウェブサイト等 | 11. 防災無線・広報車 |
| 5. 県や市町村の広報誌 | 12. 啓発グッズ |
| 6. 県や市町村のホームページ | 13. 役に立つものはない |
| 7. 投票所入場整理券 | 14. その他（ ） |

問１３ 近年、全国的に投票率が低くなっています。その理由は何だと思いませんか。

(当てはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------------------|----------------------|
| 1. 政治への不信や不満のあらわれ | 5. 選挙管理委員会の啓発が足りないから |
| 2. 期待できる候補者や政党がない | 6. わからない |
| 3. 政治に関心な人が多いから | 7. その他（ ） |
| 4. 投票前から当選する人が予想できる選挙が多いから | |

問１４ あなたが投票率を向上させるのに効果的と思う方法を選んでください。(三つまで○)

- | |
|---|
| 1. 当選した人が公約を政治にどれだけ反映させたか有権者にわかりやすく公表する |
| 2. マスコミで選挙についてもっと取り上げる |
| 3. 選挙に関する教育を学校や家庭で充実させる |
| 4. 選挙管理委員会や民間・ボランティア団体の啓発活動を活発化させる |
| 5. 投票所を駅近くなど行きやすい場所に設置する |
| 6. 投票日を増やす、あるいは投票時間を延長する |
| 7. インターネットを通じて投票できるようにする |
| 8. 投票者に特典を与える |
| 9. わからない |
| 10. その他（ ） |

問１５ 選挙管理委員会では投票率向上のため、選挙のお知らせの看板、広報車等で啓発活動をしています。これについて、あなたの考えに最も近いものを選んでください。(一つに○)

- | |
|--|
| 1. もっと積極的に行うべき |
| 2. 現状の啓発活動を維持すべき |
| 3. 投票日時場所の通知程度で最小限に行うべき |
| 4. 投票するかしないかは個人の自主性に委ね、選挙管理委員会は行うべきでない |
| 5. わからない |

☆最後に選挙に関するご意見がありましたら、ご自由にお書きください。



ご協力ありがとうございました。